

必ずお読みください	
目次	
はじめに	
基本操作	
ディスク再生の基本操作	
iPodの基本操作	
地上デジタルテレビ／テレビの基本操作	
ナビゲーションユニットの基本操作	
エクスターナルユニットの基本操作	
ディスク再生の機能設定メニューを使う	
地上デジタルテレビ／テレビの機能設定メニューを使う	
DVDの設定	
システム設定	
初期設定	
便利な機能	
付録	

取扱説明書

AVX-P90DV

7.0型ワイドVGAインダッシュモニター/DVD-V/VCD/CD・
WMA/MP3/AAC/DivX/JPEG対応プレーヤー

目次 4ページ

**重
要**

再生できるディスクの種類・・・ 120ページ
ディスクの操作について・・・ 120ページ

carrozzéria

必ずお読みください

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

 **警告**

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやDVDなどを見ない



運転者がテレビやDVDなどを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

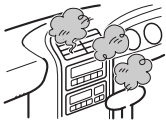
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

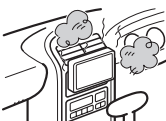


ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

 **注意**

[使用方法]

モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

目次

必ずお読みください 2

安全のために必ずお守りください 2
安全上のご注意 3

はじめに 8

この取扱説明書の見かた 8
章の切り分け 8
アイコンおよびマークの意味 9
本機の特徴 10
タッチパネル操作対応 10
DVDビデオ再生対応 10
DVDメニュー
ダイレクトタッチ対応 10
ビデオCDのPBC対応 10
CD再生対応 10
CD TEXT再生対応 10
WMA/MP3/AACファイル
再生対応 10
DivX®ファイル再生対応 10
JPEGファイル再生対応 10
ドルビーデジタル対応 11
DTS Digital Out対応 11
iPodコントロール対応 11
ナビゲーションユニットの
組み合わせに対応 11
地上デジタルTVチューナーの
組み合わせに対応 11
50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について 11
安全走行のために 12
リアモニターについて 12
携帯電話をお使いになる際のご注意 12
バッテリー上がりを防ぐために 12
著作権について 13
本機で再生できるファイルについて 13
WMAについて 13
MP3について 14
AACについて 14
DivX®について 15
デモモードについて 15
本機のリセットについて 16
ナビゲーションユニットと
組み合わせの場合 16
組み合わせ可能な
ナビゲーションについて 16
地上デジタルテレビ放送について 17
地上デジタルTVチューナー
について 17

地上デジタルTVチューナーの
設定について 17
リモコンの準備 18
リモコンに電池を入れる 18
リモコンの操作モードについて 18
別売の6ディスクマルチプレーヤーを
組み合わせた場合 19
別売のナビゲーションユニットを
組み合わせた場合 19
本体・モニターの各部の名前 20
リモコンの各部の名前 22

基本操作 24

システムのON/OFF 24
システムをONにする 24
システムをOFFにする 24
情報プレートの見かた 25
タッチキーの基本操作 25
タッチキーを表示する 25
ソースのON/OFF 26
ソースをONにする 26
ソースをOFFにする 27
モニターの操作 28
モニターの収納 28
モニターの角度調節 28
モニターを一時的に手前に倒す 28
ディスクの出し入れ 29
ディスクの入れかた 29
ディスクの取り出しかた 29
サブディスプレイについて 29
サブディスプレイに表示される情報 29

ディスク再生の基本操作 30

DVDビデオ 30
基本的なDVDビデオ画面の見かた 30
リモコンでの基本的な操作 30
タッチキーでの基本的な操作 31
DVD-VR 32
基本的なDVD-VR画面の見かた 32
リモコンでの基本的な操作 32
タッチキーでの基本的な操作 33
ビデオCD、CD、ROM-Audio (WMA/ MP3/AAC)、DivX®、JPEG 34
基本的な画面の見かた（例：CD） 34
リモコンでの基本的な操作 34
タッチキーでの基本的な操作 35

マルチCD (別売)	36	テレビ (別売)	54
基本的なマルチCD画面の見かた	36	基本的なテレビ画面の見かた	54
リモコンでの基本的な操作	36	リモコンでの基本的な操作	54
タッチキーでの基本的な操作	37	タッチキーでの基本的な操作	55
情報プレートの表示内容を 切り換える	38	情報プレートの表示内容を 切り換える	56
リストから選んで再生する	39	バンドを切り換える	56
再生モードを切り換える	39	チャンネルリストで選局する	57
コマ送り／スロー再生する	40	プリセットチャンネルリストから 放送局を選ぶ	57
コマ送り再生	40	マニュアル選局で放送局を選ぶ	58
スロー再生	40	プリセットチャンネルリストへ 放送局を登録する	58
DVDディスクのディスクメニューを 操作する	41	受信可能な中継局を探す	59
ディスクメニュー用 タッチキーを使った操作	41	データ連動放送を見る	59
DVDメニューダイレクト タッチ機能を使った操作	41	番組内容を確認する	60
CMを飛ばして再生する	42	番組表で番組を選ぶ	60
オートプレイを設定する	42	番組表を見る	60
再生中に音声や言語を切り換える	43	見たい番組を番組表から選ぶ	61
再生中に字幕言語を切り換える	43	見たい番組をジャンルで選ぶ	61
再生中にアングルを切り換える	44	現在放送中の番組一覧を見る	61
ブックマークを登録する	44	ワンセグ放送やデータ放送を見る	62
見たい場所を指定して再生する	45	2画面で表示する	62
タイトルのダイレクトサーチ	45	サブ画面を操作する	62
PBCメニューの操作	46	もう一度、放送を見直す (タイムシフト)	63
ディスクを選ぶ	46	録画してあるワンセグを再生する (タイムシフト再生)	63
iPodの基本操作	48	早戻し／早送り／ スキップ／バックをする	63
iPod (別売)	48	再生位置を登録する	63
基本的なiPod画面の見かた	48	映像を切り換える	64
リモコンでの基本的な操作	48	音声を切り換える	64
タッチキーでの基本的な操作	49	字幕を切り換える	65
情報プレートの表示内容を 切り換える	50	ナビゲーションユニットの基本操作 ...	66
曲を探す	50	ナビゲーションユニット (別売)	66
地上デジタルテレビ／ テレビの基本操作	52	本体のボタンでの基本的な操作	66
地上デジタルテレビ (別売)	52	タッチキーでの基本的な操作 (ナビゲーションソース)	67
基本的な地上デジタルテレビ 画面の見かた	52	エクスターナルユニットの基本操作 ...	68
リモコンでの基本的な操作	52	エクスターナルユニット (別売)	68
タッチキーでの基本的な操作	53	基本的な画面の見かた	68
		リモコンでの基本的な操作	68
		タッチキーでの基本的な操作	69
		機能設定メニューの操作	69

ディスク再生の機能設定メニューを使う 70

機能設定メニューを表示する	70
機能設定メニュー一覧	70
リピート再生する	73
ランダム再生する	74
スキャン再生する	74
音声の出力方法を切り換える	75
ITSを使う	75
ITSリストを作る	75
ITSリストから再生する	76
ITSリストから曲の指定を解除する	76
音を聞きやすくする	77

地上デジタルテレビ／テレビの機能設定メニューを使う 78

機能設定メニューを表示する	78
機能設定メニュー一覧	78
チャンネルを自動で登録する (チャンネルスキャン)	80
番組情報取得を設定する	81
ワンセグ放送への 切り換え方法を設定する	81
中継局または系列局への 切り換え方法を設定する	82
2画面表示でサブ画面を 表示する位置を設定する	83
文字情報の表示内容を設定する	83
放送延長時の 番組追従設定を切り換える	84
緊急警報放送の受信方法を 設定する	84
選局モードを切り換える	85
音声レベルを設定する	85
地域名を入力して 使用する地域を設定する	86
郵便番号を入力して 使用する地域を設定する	86
更新データの ダウンロード設定を行う	87
ダウンロード設定をONにしたとき	87
放送中の番組情報を 自動で取得する	87
地上デジタルTVチューナーの 設定内容を消去する	88
番組表の表示のしかたを変更する	88

受信と機能のどちらを優先するか 設定する	89
お知らせメッセージを表示する	89
地上デジタルTVチューナーの バージョン情報を表示する	90
モニターの映像出力設定を 切り換える	90
光デジタルの出力形式を 切り換える	91
受信状態の良い放送局を 自動で登録する (BSSM)	91
音声多重放送の音声を切り換える	92

DVDの設定 94

DVD設定メニューを表示する	94
DVD設定モード一覧	94
字幕言語を設定する	95
字幕言語の一覧から選択する	95
「その他」から選択する	95
音声言語を設定する	96
音声言語の一覧から選択する	96
「その他」から選択する	96
メニュー言語を設定する	97
メニュー言語の一覧から選択する	97
「その他」から選択する	97
アシスト字幕の 表示／非表示を切り換える	98
マルチアングルマークの 表示／非表示を切り換える	98
テレビアスペクトを設定する	99
視聴制限 (パレンタルロック) を設定する	99
暗証番号とレベルを設定する	100
レベルを変更する	100
ポーズモードを切り換える	101
DivX VODの 登録コードを確認する	101
DivX 字幕の 表示方法を切り換える	102
デジタル出力の設定をする	102

システム設定 104

システム設定メニューを
表示する 104

システム設定モード一覧 104

AV入力を設定する 105

バックカメラの極性を設定する 106

モニターの自動開閉を設定する 106

モニターの
セットバックを設定する 107

時計を設定する 107

夜間のサブディスプレイの
明るさを切り換える 108

サブディスプレイの
表示内容を切り換える 108

初期設定 110

初期設定メニューを表示する 110

初期設定モード一覧 110

外部機器を使う 111
外部機器の音声を聞く 111
外部機器の名称を入力する 111

ディスクの自動再生を設定する 112

イルミネーションの
点灯タイミングを変更する 113

ボタンのイルミネーション色を
変更する 113

ビート音を抑える設定にする
(BFC) 114

リモコンコードを設定する 114

便利な機能 116

背景画面を設定する
(エンタテインメント) 116

ワイド画面の
拡大方法を切り換える 116

画質を調整する 117
モニターのみぼしさを抑える 118

リアモニターを使う 118

タッチパネルの誤差を補正する 119

付録 120

再生できるディスクの種類 120
ディスクの操作について 120
DVDに表示されている
マークの意味 120
フォルダーとWMA/MP3/AAC
ファイルについて 122
再生できる
WMAファイルについて 123
再生できる
MP3ファイルについて 124
再生できる
AACファイルについて 124
再生できる
DivX®ビデオファイルについて 125
再生できる
JPEGファイルについて 125

ディスクの使用上のご注意 126
取り扱い上のご注意 126
保管上のご注意 126
お手入れについて 126
ディスク再生の環境について 126

モニターの正しい使いかた 127
取り扱い上のご注意 127
液晶画面について 128
小型蛍光管について 128
お手入れについて 128

言語コード表 129

故障かな?と思ったら 130
共通項目 130
内蔵プレーヤー：DVD 132
内蔵プレーヤー：ビデオCD 133
内蔵プレーヤー：CD 133

こんなメッセージが
表示されたら 134
内蔵プレーヤーのエラー表示 134

保証書とアフターサービス 135

用語解説 136

地上デジタルテレビの
アイコン一覧 139

仕様 140

この取扱説明書の見かた

章の切り分け

この取扱説明書では、ふだんよく使う機能と便利な機能で章を分けて説明しています。ふだんよく使う機能は、特別な設定をすることなく使用できます。便利な機能を使うには、設定が必要です。

ふだんよく使う機能については「基本操作」の章で、便利な機能についてはそのあとの「機能設定メニューを使う」などの章で説明しています。

お買い上げ後すぐにご使用になりたいときは、「基本操作」をお読みください。本機の基本的な操作方法が、ひととおりわかります。

章のタイトル	こんなときに読んでください
必ずお読みください	本機を使用するうえで、安全のために知っておいてほしいことなどが書いてあります。
はじめに	この章です。本機を使う前にお読みください。本機を操作する前に、知っておいてほしいことなどについて説明しています。
基本操作	システムのON/OFFなど、全ソース共通の操作を説明しています。
ディスク再生の基本操作	ディスク再生のふだんの操作を、ひととおり知りたいときにお読みください。
iPodの基本操作	iPodのふだんの操作を、ひととおり知りたいときにお読みください。
地上デジタルテレビ／テレビの基本操作	地上デジタルテレビ／テレビのふだんの操作を、ひととおり知りたいときにお読みください。
ナビゲーションユニットの基本操作	ナビゲーションユニットの基本操作を知りたいときにお読みください。
エクスターナルユニットの基本操作	エクスターナルユニットの基本操作を知りたいときにお読みください。
ディスク再生の機能設定メニューを使う	ディスク再生時の便利な機能を説明しています。
地上デジタルテレビ／テレビの機能設定メニューを使う	地上デジタルテレビ／テレビの便利な機能を説明しています。
DVDの設定	本機に内蔵のDVDプレーヤーの設定を行います。
システム設定	本機に接続した機器など、システム全体の設定を行います。また、本機のサブディスプレイの設定や時計調節などもここでを行います。
初期設定	本機の初期設定メニューの操作を説明しています。
便利な機能	便利な機能について説明しています。
付録	本機が正常に動作しないときの対処方法について説明しています。また、ディスクの取り扱い方法についても説明しています。本機が思ったように動作しないなど、操作で困ったときにお読みください。

アイコンおよびマークの意味



本機を使用するうえで、知っていると役に立つ機能や用語を説明しています。



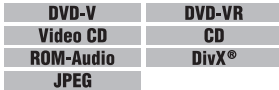
操作のヒントや便利な使い方などを説明しています。



操作するときの注意／本機の性能の維持に必要な注意／安全のために必ず守っていただきたい内容を説明しています。



操作に対応しているソースを示しています。
S-DVDは別売のDVDプレーヤー、M-CDは別売のマルチCDプレーヤーを表しています。



操作に対応しているメディアを示しています。
ROM-Audioは、WMA／MP3／AACファイルを表しています。

本機の特徴

本機は、7インチのワイド液晶画面を備えた、DVD-V/VCD/CD・WMA/MP3/AAC/DivX®/JPEG対応プレーヤーです。IP-BUS (※ 「取付説明書」) を用いて、パイオニア製メインユニットと組み合わせて使用します。音声は、メインユニットのオーディオ機能を使用して出力します。また本機は、パイオニア製ナビゲーションユニットと組み合わせることができます。

タッチパネル操作対応

本機のディスプレイ部は、タッチパネル操作に対応しています。操作を直感的に実現することができます。

DVDビデオ再生対応

本機はDVDビデオの再生に対応しています。また、ビデオモードおよびビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で録画されたDVD-R/RWの再生にも対応しています。

DVDメニューダイレクトタッチ対応

DVDディスクを挿入したときに表示されるメニューのタッチ操作に対応しています。希望の項目にタッチするだけで操作が可能です (※ 41ページ)。

- DVDディスクによっては、ダイレクトタッチ操作に対応していないものもあります。

ビデオCDのPBC対応

PBC (プレイバックコントロール) 機能付きビデオCDの再生に対応しています。

CD再生対応

音楽CDの再生に対応しています。また、音楽CDのデータが記録されたDVD-R/RW、CD-R/RWの再生に対応しています。

CD TEXT再生対応

CD TEXTの再生に対応しています。

CD TEXTとは

- CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDはCD TEXTディスクです。下記マークの付いていないCD TEXTディスクもあります。



WMA/MP3/AACファイル再生対応

WMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/RW/ROM、CD-R/RW/ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です (※ 122ページ)。

DivX®ファイル再生対応

DivX®ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM、DVD-R/RW/ROMの再生に対応しています。

JPEGファイル再生対応

JPEGピクチャーファイルが記録されたCD-R/RW/ROMの再生に対応しています。

ドルビーデジタル 対応



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS Digital Out対応



- 米国特許5451942号、または、米国およびその他の国での登録済み特許または特許申請中の実施権に基づき製造されています。「DTS」、「DTS Digital Out」は、DTS, Inc.の登録商標です。DTSロゴとシンボルは、DTS, Inc.の商標です。© 1996 — 2007 DTS, Inc. 不許複製。

iPodコントロール対応

パイオニア製iPod®用アダプター（「CD-IB10II」など）の接続に対応しています。iPod用アダプターを使って、ドックコネクター付きiPodをコントロールできます。

- iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

ナビゲーションユニットの 組み合わせに対応

HDDナビゲーション（例：「AVIC-H9000」）またはHDDナビゲーションオートサーバー（例：「AVIC-H099」）を組み合わせることができます。

地上デジタルTVチューナーの 組み合わせに対応

パイオニア製地上デジタルTVチューナー（例：「GEX-P90DTV」）を接続して、地上デジタルテレビ放送を楽しむことができます

50枚型マルチCDプレーヤー の使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能进行操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、リスト表示には切り換わりません。

安全走行のために

本機はパーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやDVDの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)



- メッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

リアモニターについて

リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます(※118ページ)。リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。

リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

携帯電話をお使いになる際の ご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面に、はん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

バッテリー上がりを 防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、時計などの設定内容は消去されてしまいます。

時刻設定は107ページを参照して、再設定してください。

著作権について

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機で再生できるファイルについて

WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver .7以降を使ってエンコードできます。

- Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ

<http://www.mp3licensing.com>
をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配信システムなど。

メモ

- MP3ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

AACについて

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。

AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機は、iTunesで作成された拡張子（.m4a）がついているファイルを、AACファイルとして再生します。故障の原因となりますので、（.m4a）以外の拡張子のついたAACファイルを再生しないでください。

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- iTunesミュージックストアで購入された楽曲（.m4p）は、DVD-R/RWまたはCD-R/RWに記録して再生することはできません。
- iTunesは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

DivX®について



DivX®は、DivX, Inc.が開発したメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや、字幕、オーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified製品は、DivXのクリエイターによってテストされ、すべてのバージョンのDivX (DivX 6も含む)でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠していることを示しています。

- DivX® Certified製品
- 標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオを再生 (DivX® 6も含むすべてのバージョンに対応)
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc.の商標です。これらの商標は、DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。

本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RWに記録されたDivX®ファイルを再生できます。

この取扱説明書では、それぞれのDivX®ファイルをDVDに合わせて「タイトル」と呼びます。

デモモードについて

デモモードは、本機がソースOFFのときに、各ソースや本機の機能を表示する機能です。

デモを解除するには、ソースOFFのときに、【BAND】ボタンを長く押しします。もう一度長く押しすと、デモが始まります。

ご注意

- 車のエンジンを止めた状態で、デモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。
- 赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、デモが表示され、バッテリー上がりの原因となります。

本機のリセットについて

ご注意

- リセットボタンを押すと、本機が初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。

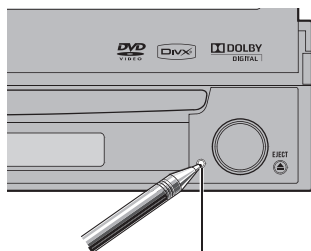
次のようなときにリセットボタンを押してください。

- 本機が正しく動作しないとき。
- モニターが正しく表示されないとき。

1 エンジンスイッチをOFFにする

2 ペン先などでリセットボタンを押す

本機のマイコンが初期状態に戻ります。



リセットボタン

メモ

- パイオニア製ナビゲーションユニットを組み合わせた場合、必ずエンジンスイッチをOFFにしてから、リセットボタンを押してください。エンジンスイッチがONやACCの状態ではリセットボタンを押しても、正しく動作しないことがあります。
- 接続が終わったあとや、すべての登録内容を消去し、本機を初期状態（ご購入直後の状態）に戻りたいときなどは、エンジンスイッチをONかACCにしてからリセットボタンを押してください。

ナビゲーションユニットと組み合わせた場合

組み合わせ可能なナビゲーションについて

別売のHDDナビゲーション（例：「AVIC-H9000」）またはHDDナビゲーションオートサーバー（例：「AVIC-H099」）を組み合わせることができます。ただし、以下の制限事項があります。

- 本機からHDDナビゲーションオートサーバーのミュージックサーバーへは録音できません。

ご注意

- 本機と組み合わせ可能なナビゲーションユニットには制限があります。

詳しくは、販売店にお問い合わせいただくか、

パイオニアホームページ

<http://pioneer.jp>

をご覧ください。

地上デジタルテレビ放送について

地上デジタルTVチューナーについて

別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナー（例：「GEX-P90DTV」）を接続して、地上デジタルテレビ放送を楽しむことができます。

接続した地上デジタルTVチューナーによっては、使用できる機能に制限があります。

地上デジタルTVチューナーの操作について詳しくは、「地上デジタルテレビ／テレビの基本操作」(P.52ページ)を参照してください。

メモ

- 地上デジタルテレビ放送について詳しくは、接続した地上デジタルTVチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- この取扱説明書で説明している地上デジタルTVチューナーの操作は、「GEX-P90DTV」を組み合わせた場合のものです。
- 組み合わせた地上デジタルTVチューナーによっては、使用できる機能が異なる場合があります。

地上デジタルTVチューナーの設定について

本機に、地上デジタルTVチューナー（例：「GEX-P90DTV」）を接続した場合、使用する前に以下の設定をする必要があります。

地域設定（**地域設定**）：

使用する地域を設定します。地域のチャンネルリスト（エリアリスト）での選局に必要な設定です。

郵便番号入力（**郵便番号入力**）：

使用する地域を郵便番号から設定します。設定した地域の天気予報や選挙速報などの受信に必要な設定です。

チャンネルスキャン（**スキャン**）：

チャンネルを自動的に探して登録させます。

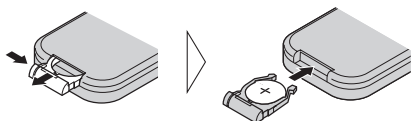
以下の手順を参考に、初期設定を行ってください。

- 1 地域設定** を行う (P.86ページ)
- 2 郵便番号入力** を行う (P.86ページ)
- 3 スキャン** を行う (P.80ページ)

リモコンの準備

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を図のようにしてセットします。



- はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部分から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただけます。



メモ

- リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

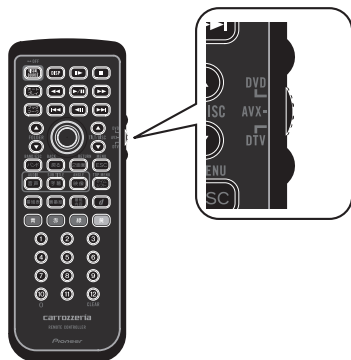


リモコン取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの操作モードについて

本機のリモコンには、DVD、AVX（通常操作位置）、DTVの3つの操作モードがあります。



DVDモード：

以下の操作をするときに使います。

- DVDのディスクメニューをサムパッドで操作するとき
- ビデオCDのPBCメニューを数字ボタンで操作するとき
- DVDのグループやタイトル、ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定するとき

AVXモード：

リモコンで、本機を操作するときに使います。通常は、このモードでお使いください。

DTVモード：

本機に付属のリモコンで、別売の地上デジタルTVチューナーを操作するときに使います。



メモ

- AVXモードのときは、⑦～⑩ ボタンは使用できません。

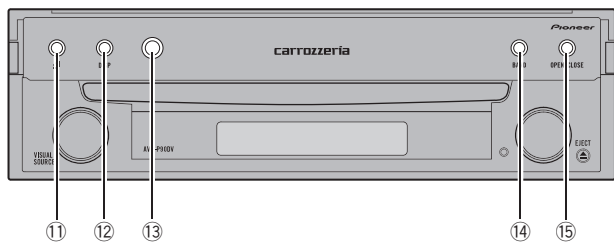
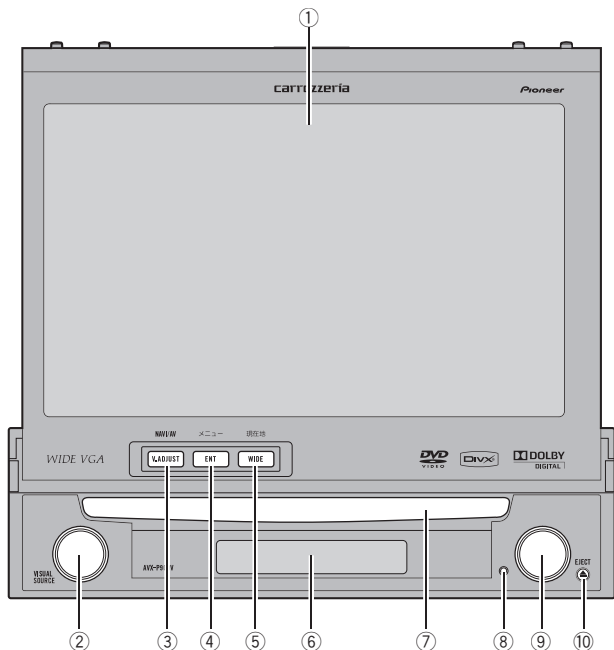
別売の6ディスクマルチ プレーヤーを組み合わせた場合

別売の6ディスクマルチプレーヤー（例：「XDV-P70」）を組み合わせた場合は、リモコンコードを設定してください（※ 114ページ）。

別売のナビゲーションユニット を組み合わせた場合

本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションユニット（例：「AVIC-H9000」）は操作できません。ナビゲーションユニットは、本機のタッチキーまたはナビゲーションユニットに付属のリモコンで操作してください。

本体・モニター各部の名前



① 画面

7インチのワイド液晶画面です。

② VISUAL SOURCE

ソースがONになります。

回すと、ソースが切り換わります。

長く押すと、ソースがOFFになります。

③ V.ADJUSTボタン (☞ 117ページ)

画質調整メニューに変わります。

ナビゲーションユニットを接続している場合、ナビゲーション画面とソース画面を切り換えます。

④ ENTボタン (☞ 116ページ)

エンタテインメント選択画面を表示します。

ナビゲーションユニットを接続している場合、ナビゲーションのメニュー画面と地図画面を切り換えます。

⑤ WIDEボタン (☞ 116ページ)

ワイド画面の拡大方法を切り換えます。

ナビゲーションユニットを接続している場合、現在地を表示します。

⑥ サブディスプレイ (☞ 29ページ)

ソースの種類、ソース情報、時刻などを表示します。

⑦ ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

⑧ リセットボタン (☞ 16ページ)

本機を初期状態に戻します。

⑨ ジョイスティック

上下左右に操作したり、中心を押すことでさまざまな機能を操作できます。

⑩ EJECT (☞ 29ページ)

ディスクを取り出します。

⑪ 一時可倒ボタン (☞ 28ページ)

モニターを一時的に水平にします。

⑫ DISPボタン

画面表示を切り換えます。

ナビゲーションユニットを接続している場合、長く押すと「画面設定」メニューを表示します。

⑬ 外光センサー

周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動調整するためのセンサーです。

⑭ BANDボタン

地上デジタルテレビ/テレビのバンドを切り換えます。

また、メニュー表示中は、メニュー画面を閉じ、ソース画面に戻ることができます。

⑮ OPEN/CLOSEボタン (☞ 28ページ)

モニターを収納したり、立ち上げたりします。



メモ

- ナビゲーションユニットの操作については、ナビゲーションユニットの説明書をご覧ください。

リモコンの各部の名前

リモコンコード
切り換え
スイッチ
(※ 114ページ)





















操作モード
切り換え
スイッチ
(※ 18ページ)

メモ

- AVXモード時の数字ボタン①～⑥は、次の機能などの数字入力には使用できません。
 - DVDソースの「見たい場所を指定して再生する」(※ 45ページ)
 - 地上デジタルテレビソースの「郵便番号を入力して使用する地域を設定する」(※ 86ページ)

ボタン	DVD モード	AVX モード	DTV モード
(OFF)	ソースが ON になります。本機のソースが切り換わります。 長く押しすと、ソースが OFF になります。		
(DISP)	画面表示が切り換わります。		
(▶)	ディスクのコマ送り再生またはスロー再生をします。		
(■)	ディスクの再生を停止します。		
(⏩)	オートプレイ設定を切り換えます (42 ページ)。		
(⏪)	ディスクの早戻し再生をします。		
(⏸)	ディスクの再生を一時停止します。一時停止中などに押しと再生を再開します。		
(▶▶)	ディスクの早送り再生をします。		
(📌)	ブックマークを登録します。ブックマーク登録済みの場合に長く押しと、登録を解除します。		
(📄)	タイトル/チャプター/トラック/ファイルを戻します。		
(⏪)	スロー再生の速度を切り換えます。		
(▶▶)	タイトル/チャプター/トラック/ファイルを進めます。		
(FOLDER)	次のタイトル/フォルダーを選びます。		
(FOLDER)	前のタイトル/フォルダーを選びます。		
(TILT/DISC)	次のディスクを選びます。	モニターの角度を調整します。	
(TILT/DISC)	前のディスクを選びます。	モニターの角度を調整します。	

ボタン	DVD モード	AVX モード	DTV モード
 サムパッド	ソースやメディアによって機能が異なります。 DVD ビデオ : 30 ページをご覧ください。 DVD-VR:32 ページをご覧ください。 ビデオ CD、CD、ROM-Audio (WMA/MP3/AAC)、DivX、JPEG : 34 ページをご覧ください。 マルチ CD (別売) : 36 ページをご覧ください。 iPod (別売) :48 ページをご覧ください。 地上デジタルテレビ (別売) :52 ページをご覧ください。 テレビ (別売) :54 ページをご覧ください。 また、DVD のディスクメニューの表示中に、項目を選択します。		
 (BAND/ESC)	メニュー画面からソース画面に戻ります。 混在ディスクで、データ形式を切り換えます。ROM-Audio (WMA/MP3/AAC) / DivX / JPEG で長く押し、ROOTに戻ります。 地上デジタルテレビおよびテレビで、バンドを切り換えます。		地上デジタルテレビで、バンドを切り換えます。
 (BACK)	メニュー画面で、1 つ前の画面に戻ります。		地上デジタルテレビのメニュー画面で、1 つ前の画面に戻ります。
 (RETURN)	DVD で、ディスク中の決められた場所に戻ります。 ビデオ CD で PBC (プレイバックコントロール) 再生中に、メニュー画面を表示します。		地上デジタルテレビで、2 画面表示に切り換えます。
 (MENU)	DVD のディスクメニューを表示します。		地上デジタルテレビのメニュー画面からソース画面に戻ります。
 (AUDIO)	音声 / 音声言語を切り換えます。		地上デジタルテレビで、音声を切り換えます。
 (SUB TITLE)	字幕言語を切り換えます。		地上デジタルテレビで、字幕を切り換えます。
 (ANGLE)	アングルを切り換えます。		地上デジタルテレビで、映像を切り換えます。
 (TOP MENU)	DVD の最上位メニューを表示します。		地上デジタルテレビで、タイムシフト画面を表示します。
	地上デジタルテレビで、番組表を表示します。		
	地上デジタルテレビで、放送中の番組一覧を表示します。		
	地上デジタルテレビで、番組内容を表示します。		
	地上デジタルテレビで、データ放送を表示します。		
	地上デジタルテレビの番組表およびデータ放送の画面で、各種の操作をします。 それぞれのボタンが対応する機能は画面に表示されます。		
			
			
			
			
①	1 を入力します。		
②	2 を入力します。		
③	3 を入力します。		
④	4 を入力します。		
⑤	5 を入力します。		
⑥	6 を入力します。		
⑦	7 を入力します。		7 を入力します。
⑧	8 を入力します。		8 を入力します。
⑨	9 を入力します。		9 を入力します。
⑩(0)	0 を入力します。		10 を入力します。
⑪	10 の位を入力します。		11 を入力します。
@(CLEAR)	入力した数字を取り消します。		12 を入力します。

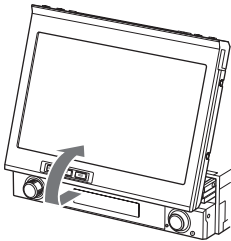
システムのON/OFF

本機はIP-BUS (※ 「取付説明書」) を用いて、メインユニットと組み合わせて使用します。音声は、メインユニットのオーディオ機能を使用して出力します。メインユニットのソースは、AUXに切り換えてください。この切り換えは、エンジンスイッチをACCまたはONにしたあとにメインユニット側で行います。

システムをONにする

1 本機の電源をONにする

エンジンスイッチをACCまたはONにすると本機の電源がONになり、モニターが自動的に立ち上がります。



メモ

- ・モニターの自動開閉 (※ 106ページ) を「マニュアル」に設定していると、モニターは自動で立ち上がりません。【OPEN/CLOSE】ボタンを押して、立ち上げてください。

2 メインユニットでソースをAUXに切り換える

メモ

- ・メインユニットの操作については、メインユニットの取扱説明書をご覧ください。
- ・メインユニット側から、本機のソースを切り換えることはできません。

3 本機のソースを切り換える (※ 26ページ)

システムをOFFにする

1 本機とメインユニットの電源をOFFにする

エンジンスイッチをOFFにすると、本システムの電源がOFFになります。モニターは、自動的に収納されます。

メモ

- ・モニターの自動開閉 (※ 106ページ) を「マニュアル」に設定していると、モニターは自動で収納されません。【OPEN/CLOSE】ボタンを押して、モニターを収納してから、エンジンスイッチをOFFにしてください。

情報プレートの見かた

電源を入れたときや、ソースを切り換えたときには、画面の上部に情報プレートが表示されます。



情報プレートの左端には現在選択しているソースのアイコンが表示されます。また、ソースアイコンの右側には、選択したソースに応じて、再生時間やチャンネルなどのさまざまな情報が表示されます。表示される内容のうち、タイトル切り換えができるものは、**情報** にタッチして操作します。

【DISP】ボタン、またはリモコンの **[DISP]** ボタンを押すと、情報プレートの表示/非表示を切り換えることができます。

【DISP】ボタン、またはリモコンの **[DISP]** ボタンを押して情報プレートを表示した場合は、情報プレートは自動では消えません。情報プレートを消すときは、【DISP】ボタン、またはリモコンの **[DISP]** ボタンを押してください。

- ソースを切り換えると、自動的に情報プレートを表示します。映像ソースの場合、約8秒間何も操作しないと、情報プレートは自動で消えます。

タッチキーの基本操作

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。表示されるタッチキーは、選んでいるソースやモードによって異なります。(例：CDを再生している場合)



2 操作したい機能のタッチキーにタッチする

例： **[PAUSE]** にタッチすると、ディスクを再生（または一時停止）します。

3 操作が終わったら、**ビュー** にタッチする

タッチキーが画面から消えます。



[Pencil] メモ

- 映像ソースでは、タッチキーは約30秒後に自動的に消えます。

ソースのON/OFF

ソースをONにする

エンジンスイッチをONにすると、前回使用していたソースがONになります。

前回ソースOFFで、エンジンスイッチをOFFにした場合は、再びエンジンスイッチをONにしたとき、ソースはOFFのままとなります。ソースをONにするには、以下の方法があります。

■ タッチキーで、ソースをONにする／ソースを選ぶ

1 ソースアイコンにタッチする

ソースメニューが表示されます。



2 ソースを選んでタッチする

選んだソースがONになります。

✎ メモ

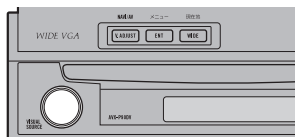
- 内蔵プレーヤーにディスクを挿入すると、挿入されたディスクを自動判別して、ディスクに対応したソースになります。
- ディスクの自動再生 (※ 112ページ) を「OFF」に設定していると、ディスクを挿入しても自動的に内蔵プレーヤーには切り換わりません。
- DVD** は内蔵プレーヤーを示すタッチキーです。ディスクやメディアの種別 (DVDビデオ、DVD-VR、ビデオCD、CD、ROM-Audio、DivX、JPEG) にかかわらず、内蔵プレーヤーをソースとして選ぶときは、**DVD** にタッチします。

一部のナビゲーションユニット (例：「AVIC-H099」) を組み合わせている場合

組み合わせたナビゲーションユニットのソースに「N-DVD」や「M.S.V」がある場合、これらのソースを選ぶと、ナビゲーションユニットのタッチキー表示に切り換わります。ナビゲーションユニットのソース画面を表示中は、ナビゲーションのソースアイコンにタッチすると、本機のソースメニューを表示することができます。

■ [VISUAL SOURCE] で、ソースをONにする／ソースを選ぶ

1 [VISUAL SOURCE] を押す



ソースがONになります。

2 [VISUAL SOURCE] を回す

回すと、ソースが以下のように切り換わります。

TV (テレビ：別売)

→ DTV (地上デジタルテレビ：別売)

→ AV1 (AVソース：別売)

→ AV2 (AVソース：別売)

→ DVD (内蔵プレーヤー)

→ S-DVD (DVD：別売)

→ M-CD (マルチCD：別売)

→ iPod (iPod：別売)

→ EXT-1

(エクスターナルユニット1：別売)

→ EXT-2

(エクスターナルユニット2：別売)

→ AUX (外部機器：別売)

→ N-DVD (ナビゲーションユニットのプレーヤー：別売)

→ M.S.V (ナビゲーションユニットのミュージックサーバー：別売)

メモ

- (電源) ボタンでも、操作できます。
- 内蔵プレーヤーにディスクがセットされていないときは、内蔵プレーヤーには切り換わりません。
- 接続していないソースには切り換わりません。
- AV入力を設定 (※ 105ページ) しないと、AVIには切り換わりません。
- 外部機器の設定 (※ 111ページ) をしないと、AUXには切り換わりません。

エクスターナルユニット

- エクスターナルユニットとは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。
- 本機では、エクスターナルユニット (EXT) を最大2台まで接続・コントロールできます。ただし、EXT-1とEX-T2のどちらに切り換えても「EXT」と表示されます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、EXT-1とEXT-2が自動的に設定されます。

ナビゲーションユニットのソース

- N-DVDとはナビゲーションユニットのDVDソースのことで、M.S.Vとはナビゲーションユニットのミュージックサーバーソースのことです。接続したナビゲーションユニットにそれぞれのソースがある場合に、切り換えることができます。

ソースをOFFにする

ソースをOFFにするには、以下の方法があります。

■ タッチキーで、ソースをOFFにする

1 ソースアイコンにタッチする

ソースメニューが表示されます。



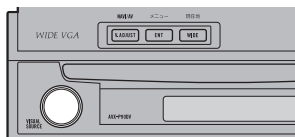
2 OFF にタッチする

ソースがOFFになります。

■ [VISUAL SOURCE] で、ソースをOFFにする

1 [VISUAL SOURCE] を長く押す

ソースがOFFになります。



メモ

- (電源) ボタンでも、操作できます。
- モニターは立ち上がったまま、情報プレートに「OFF」が表示されます。
- ソースをOFFにしても、本機の電源はOFFにはなりません。

モニター の 操作

モニター の 収納

【OPEN/CLOSE】ボタンを押すと、モニターを収納できます。

メモ

- モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、【OPEN/CLOSE】ボタンを押して必ず収納してください。(そのまま放置しないでください。故障することがあります。)

モニター の 角度 調節

車外からの光が画面に反射しているときなどは、見やすくなるようにモニターの角度を調節できます。

ご注意

- 角度調節は、手で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。



1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。

2 画面左下の / (TILT) にタッチする

モニター の 角度 が 調整 できます。

メモ


- リモコンの  /  (TILT/DISC) ボタンでも操作できます。

モニター を 一時的 に 手前 に 倒す

モニター の 背後 に ある スイッチ を 操作 したい とき など は、【一時可倒】ボタンを押します。モニターを一時的に手前に倒すことができます。

ボタンを押すとモニターが一時的に手前に倒れ、約10秒後に自動的に元に戻ります。(元に戻る約3秒前になると「ピッピッ」と鳴ります。)

メモ

- モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。
 - エンジンスイッチをON (またはACC) にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。
 - 自動開閉機能 (※ 106ページ) を、OFF にすることもできます。
- 【OPEN/CLOSE】ボタンを押してモニターを収納してから、車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON (またはACC) にしても、モニターは立ち上がりません。【OPEN/CLOSE】ボタンを押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、 (TILT) にタッチしてモニターを手前に調節してください。
- 立ち上がったモニターを後ろに下げること (セッパック) もできます (※ 107ページ)。
- モニターの角度を調節すると、次回から調節した角度でモニターが立ち上がります。



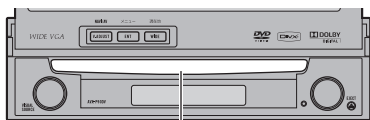
指のケガに注意

モニター の 立ち 上げ や 収納、角度 調節 時 に 手 や 指 を 挟 ま れ ない よう に ご 注 意 ください。特にお子さまなどはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

ディスクの出し入れ

ディスクの入れかた

1 タイトル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込む



ディスク挿入口

挿入されたディスクの種類を自動で判別して、再生が始まります。

ご注意

- 8cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

メモ

- ディスクの自動再生 (P.112) を OFF に設定していると、ディスクを挿入しても自動的に内蔵プレーヤーには切り換わりません。手動でソースを内蔵プレーヤーに切り換えてください (P.26)。

ディスクの取り出しかた

1 [EJECT] ボタンを押す

ディスクが出てきます。

メモ

- 取り出したディスクは、ケース等に入れて保管してください。

サブディスプレイについて

サブディスプレイに表示される情報

本機のサブディスプレイには、各ソースごとの情報が表示されます。また、時計を表示したり、何も表示しない設定にすることもできます (P.108ページ)。



ソースごとの情報は次のとおりです。

内蔵プレーヤー

再生しているメディアに応じて、タイトル番号/チャプター番号/トラック番号/フォルダー番号/ファイル番号などを表示します。

地上デジタルテレビ/テレビ

現在選択しているチャンネル番号などを表示します。

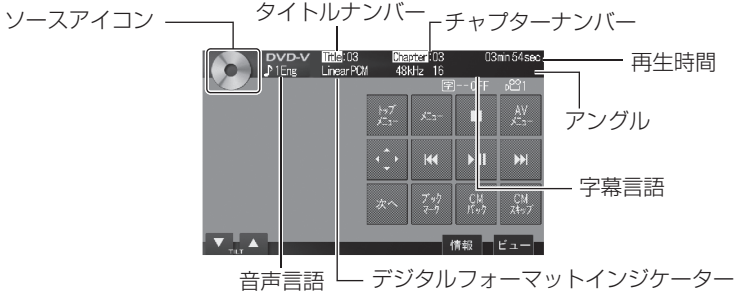
ディスク再生の基本操作

DVDビデオ

DVD
S-DVD

基本的なDVDビデオ画面の見かた

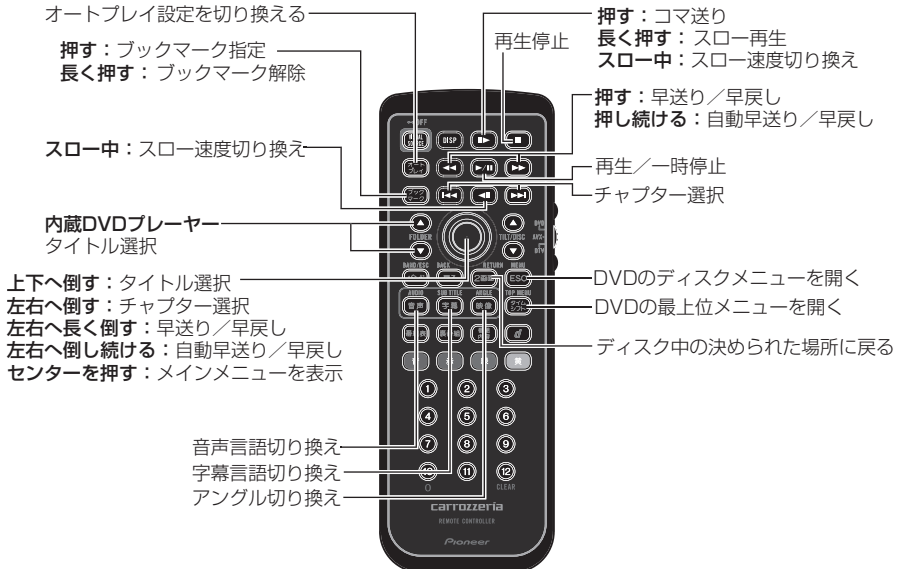
DVDビデオを見るときの画面には、以下のような情報が表示されます。



リモコンでの基本的な操作

リモコンによるDVDビデオの操作は、AVXモードで行います。














DVDビデオの基本操作には、以下のボタンを使用します。



タッチキーでの基本的な操作

DVDビデオの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	DVDの最上位メニューを表示する (☞ 41ページ)
	DVDのディスクメニューを表示する (☞ 41ページ)
	ディスクの再生を停止する
	メインメニューを表示する (☞ 70ページ)
	再生を一時停止する 停止／一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
	ディスクメニュー用タッチキーを呼び出す (☞ 41ページ)
	タッチキーを切り換える
	タッチキーを切り換える
	ブックマークを登録・消去する (☞ 44ページ)
	CMをスキップする (☞ 42ページ)
	CMをスキップする (☞ 42ページ)
	タイトル／チャプター指定画面を表示する (☞ 45ページ)
	情報プレートの表示内容を切り換える (☞ 38ページ)

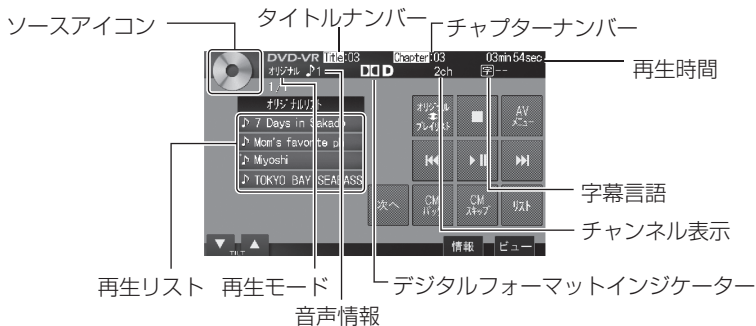
	タッチ：チャプターを進める 長くタッチ：早送りをする
	5秒以上タッチし続けると、自動で早送りを行います。通常再生に戻るには、  にタッチしてください。
	タッチ：チャプターを戻す 長くタッチ：早戻しをする
	5秒以上タッチし続けると、自動で早戻しを行います。通常再生に戻るには、  にタッチしてください。
	次タイトルを選ぶ
	前タイトルを選ぶ
	コマ送り再生／スロー再生をする (☞ 40ページ)
	オートプレイ設定を切り換える (☞ 42ページ)
	音声言語を切り換える (☞ 43ページ)
	字幕言語を切り換える (☞ 43ページ)
	アングルを切り換える (☞ 44ページ)
	ディスク中の、決められた場面に戻る
	マルチDVD： ディスクリストを表示する (☞ 46ページ)

DVD-VR

DVD
S-DVD

基本的なDVD-VR画面の見かた

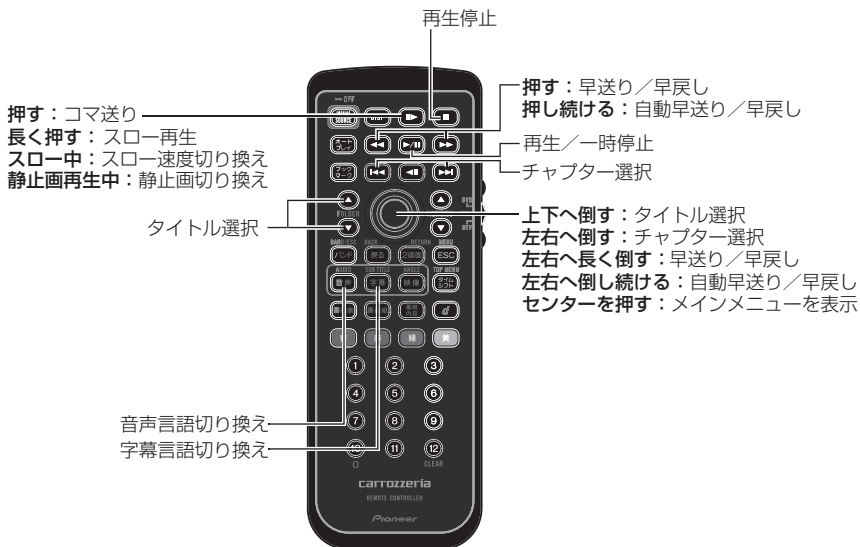
DVD-VRを見るときの画面には、以下のような情報が表示されます。



リモコンでの基本的な操作











リモコンによるDVD-VRの操作は、AVXモードで行います。

DVD-VRの基本操作には、以下のボタンを使用します。



タッチキーでの基本的な操作

DVD-VRの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	ディスクの再生を停止する		タッチ：チャプターを進める 長くタッチ：早送りをする
	メインメニューを表示する (☞ 70ページ)		5秒以上タッチし続けると、自動で早送りを行います。通常再生に戻るには、  にタッチしてください。
	リストを表示する (☞ 39ページ)		タッチ：チャプターを戻す 長くタッチ：早戻しをする
	再生モードを切り換える (☞ 39ページ)		5秒以上タッチし続けると、自動で早戻しを行います。通常再生に戻るには、  にタッチしてください。
	再生を一時停止する 停止／一時停止中などにタッチすると、再生を開始します。		次のタイトルを選ぶ
	タッチキーを切り換える		前のタイトルを選ぶ
	タッチキーを切り換える		コマ送り再生／スロー再生をする (☞ 40ページ)
	CMをスキップする (☞ 42ページ)		音声言語を切り換える (☞ 43ページ)
	CMをスキップする (☞ 42ページ)		字幕言語を切り換える (☞ 43ページ)
	タイトル／チャプター／時間 指定画面を表示する (☞ 45ページ)		
	情報プレートの表示内容を 切り換える (☞ 38ページ)		

ビデオCD、CD、ROM-Audio (WMA/MP3/AAC)、DivX[®]、JPEG DVD S-DVD

メモ

・内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。

基本的な画面の見かた (例：CD)

画面には、以下のような情報が表示されます。

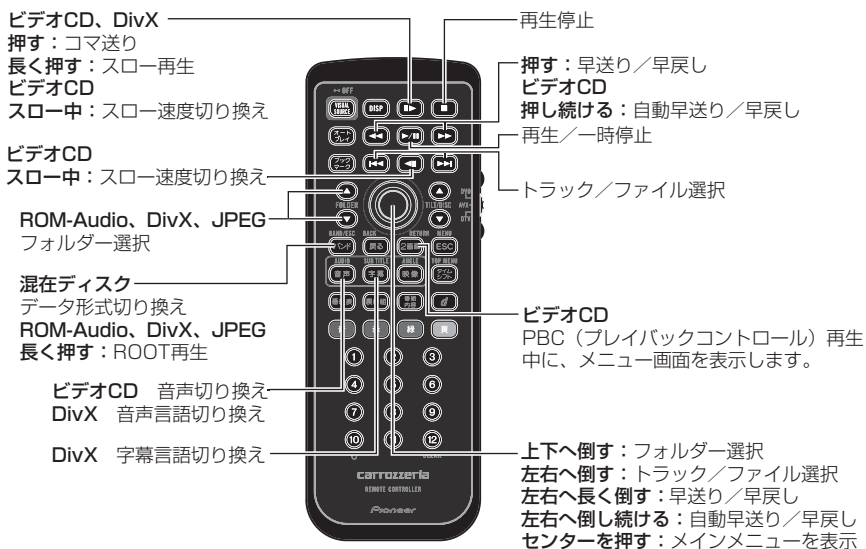


ROM-AudioやDivX、JPEGなどでは、表示される内容が異なります。

リモコンでの基本的な操作


リモコンによる操作は、AVXモードで行います。

基本操作には、以下のボタンを使用します。





タッチキーでの基本的な操作


ビデオCD、CD、ROM-Audio (WMA/MP3/AAC)、DivX、JPEGのそれぞれのソースでの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	ビデオCD トラック/時間指定画面を表示する (※ 45ページ)
--	--


	DivX 時間指定画面を表示する (※ 45ページ)
--	--

	ディスクの再生を停止する
--	--------------


	メインメニューを表示する (※ 70ページ)
--	----------------------------------

	再生を一時停止する 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
--	-------------------------------------


	ビデオCD、CD、ROM-Audio、DivX : タッチ：トラックを進める 長くタッチ：早送りをする
--	--

ビデオCD再生中に、5秒以上タッチし続けると、自動で早送りを行います。通常再生に戻るには、にタッチしてください。


JPEG :
 タッチ：ファイルを進める


	ビデオCD、CD、ROM-Audio、DivX : タッチ：トラックを戻す 長くタッチ：早戻しをする ビデオCD再生中に、5秒以上タッチし続けると、自動で早戻しを行います。通常再生に戻るには、  にタッチしてください。
--	--


JPEG :
 タッチ：ファイルを戻す

	ビデオCD : ディスク中の、決められた場面に戻る
--	-------------------------------------

	ビデオCD : コマ送り再生/スロー再生をする (※ 40ページ)
---	---


	CD、ROM-Audio、DivX、JPEG : トラック (ファイル) リストを表示する (※ 39ページ)
---	---

	DivX : 字幕言語を切り換える (※ 43ページ)
---	---


	DivX : 音声言語を切り換える (※ 43ページ)
---	---


	ROM-Audio、DivX、JPEG : 次のフォルダーを選ぶ
---	--


	ROM-Audio、DivX、JPEG : 前のフォルダーを選ぶ
---	--

	混在ディスク : データ形式を切り換える
---	--------------------------------

1枚のディスクに、音楽CD (CD-DA) やデータ (ROM-Audio、DivX、JPEG) などが混在している場合にタッチすると、切り換えることができます。

	ROM-Audio : 再生中のファイルの詳細情報を表示する
---	--

	JPEG : 画像を回転させる タッチするたびに、時計回りに90度ずつ回転します。
---	--

	情報プレートの表示内容を切り換える (※ 38ページ)
---	---------------------------------------

マルチCD（別売）

基本的なマルチCD画面の見かた

マルチCDを操作するときの画面には、以下のような情報が表示されます。



リモコンでの基本的な操作

リモコンによるマルチCDの操作は、AVXモードで行います。

マルチCDの基本操作には、以下のボタンを使用します。



タッチキーでの基本的な操作

マルチCDの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	メインメニューを表示する (<small>☞</small> 70ページ)
	再生を一時停止する 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
	タッチ：トラックを進める 長くタッチ：早送りをする
	タッチ：トラックを戻す 長くタッチ：早戻しをする
	次のディスクを選ぶ
	前のディスクを選ぶ
	リストを表示する (<small>☞</small> 46ページ)
	情報プレートの表示内容を切り換える (<small>☞</small> 38ページ)

情報プレートの表示内容を切り換える

DVD **S-DVD** **M-CD**

DVD-V	DVD-VR	Video CD
CD	ROM-Audio	DivX®
		JPEG



メモ

- 内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。



情報 で操作します

情報プレートの表示内容を切り換えることができます。ディスクに収録されている文字情報や、音声／字幕／アングルの情報などを見ることができます。



メモ

- 本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」などに漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示できます。

1 情報 にタッチする

タッチするたびに、情報プレートに表示される内容が切り換わります。

DVDビデオ	音声／字幕／アングル → 再生範囲表示
DVD-VR	音声／字幕 → 再生範囲表示 → タイトル名
「CD-TEXT」	ディスクタイトル → ディスクアーティスト名 → トラックタイトル → トラックアーティスト名
WMA	フォルダ名 → ファイル名 → トラック名 → アーティスト名
MP3 AAC	フォルダ名 → ファイル名 → アルバム名 → トラック名 → アーティスト名
JPEG DivX	フォルダ名 → ファイル名



メモ

- 文字情報が入力されていない場合は、「No XXXX (例：No Title)」と表示されます。

リストから選んで再生する

DVD **S-DVD** **M-CD**

DVD-VR	CD	ROM-Audio
	DivX®	JPEG

メモ

- ・内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。

リストで操作します

ファイル名(曲名/ディスク名)のリストから、聞きたいファイル(曲/ディスク)を選んで再生できます。

1 リストにタッチする

リストが表示されます。

2 再生したい項目にタッチする



選んだファイル/曲/ディスクの再生が始まります。

- ・フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内のファイル名のリスト表示になります。
- ・マルチCDプレーヤーの場合、**リスト**にタッチするとディスクリストとタイトルリストを切り換えることができます。

メモ

- ・再生中のディスク(フォルダー)に6ファイル(フォルダー)以上収録されている場合、**次へ** / **前へ** にタッチして、表示を切り換えることができます。
- ・**↑** にタッチすると、1つ上の階層に戻ります。

再生モードを切り換える

DVD

DVD-VR



で操作します

DVD-VRの再生モードを、オリジナルまたはプレイリストに切り換えることができます。

DVD-VRのオリジナルとプレイリスト

- ・DVDレコーダーで作られたタイトルリストを、オリジナルと呼びます。オリジナルの映像をもとに作成した、編集用の映像をプレイリストと呼びます。プレイリストでは、オリジナルの映像を好みの順番に並べ替えて再生できます。
- ・オリジナルとプレイリストはどちらも、DVDレコーダーで作成します。詳しくは、DVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

1 オリジナル ↔ プレイリストにタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。


オリジナル → プレイリスト

コマ送り／スロー再生する

DVD S-DVD

DVD-V Video CD	DVD-VR DivX®
-------------------	-----------------

メモ


- 内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。
- DivXでは、コマ送り再生はできません。
- DivX再生中は、リモコンの  ボタンでのみスロー再生が操作できます。タッチキーは表示されません。また、スロー再生の速度を切り換えることはできません。



コマ送り再生

1 にタッチする


タッチするたびに、映像がコマ送りされます。


 にタッチすると、通常再生に戻ります。

スロー再生




1 再生中に「」が表示されるまで にタッチし続ける

映像がスロー再生されます。

スロー再生中に  にタッチすると、スロー再生の速度を4段階（1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2）で切り換えることができます。

 にタッチすると、通常再生に戻ります。

メモ

-  /  ボタンでも同様に操作できます。
- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、コマ送り／スロー再生できない場合があります。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

DVDディスクのディスクメニューを操作する

DVD S-DVD

DVD-V



で操作します

ディスクメニュー用タッチキーを使った操作

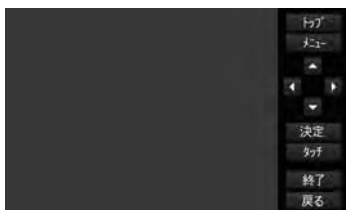
1 **トップメニュー**または**メニュー**にタッチする

ディスクメニューが表示されます。

にタッチして、ディスクメニュー用タッチキーを表示させることもできます。この場合は、手順3から操作してください。

2 にタッチする

ディスクメニュー用タッチキーが表示されます。



トップ または **メニュー** にタッチすると、再生を再開します。

タッチ または **終了** にタッチすると、ディスクメニュー用タッチキーが消え、DVDメニューダイレクトタッチ操作に切り換わります。

3 / / / にタッチして、メニューを操作する

4 **決定** にタッチする

メニューの選択を決定できます。

5 **戻る** にタッチする

ディスクメニュー用タッチキーが画面から消えます。

DVDメニューダイレクトタッチ機能を使った操作

DVDディスクのメニューを画面のタッチで操作できます（DVDメニューダイレクトタッチ機能）。

1 **トップメニュー**または**メニュー**にタッチする

ディスクメニューが表示されます。

2 再生したい項目に直接タッチして、メニューを操作する

にタッチすると、ディスクメニュー用タッチキーが表示されます。DVDメニューダイレクトタッチ機能では操作しにくい場合は、ディスクメニュー用タッチキーで操作してください。

- ディスクやコンテンツによっては、DVDメニューダイレクトタッチ機能に対応していないものもあります。

メモ

- (TOP MENU) ボタンや (MENU) ボタンを押して、ディスクメニューを表示することもできます。
- サムパッドを上下左右に操作してメニューを選択することもできます（リモコンの操作モードはDVD **18ページ**）。また、サムパッドの中心を押すことで、メニューの選択を決定できます。
- ディスクによっては、ディスクメニューのないものがあります。また、ディスクメニューが表示されない場合もあります。
- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

CMを飛ばして再生する

DVD

DVD-V

DVD-VR



で操作します

再生中の映像を、一定の秒数だけスキップします。CMなどを飛ばして再生したいときなどに便利です。

1 **CMスキップ** / **CMバック** にタッチする

タッチするたびに、次の秒数で映像がスキップされます。

CMスキップ	30秒→1分→1分30秒 →2分→3分→5分 →10分→0秒
---------------	--------------------------------------

CMバック	5秒→15秒→30秒 →1分→2分→3分→0秒
--------------	----------------------------

オートプレイを設定する

DVD

DVD-V



で操作します

DVDディスクの挿入と同時に、タイトルを自動で再生するかどうかを設定します。再生の順序は、数字の若いほうからになります。

1 **オートプレイ** にタッチする

タッチするたびに、オートプレイのON/OFFが切り換わります。

メモ

- ボタンでも同様に操作できます。
- ディスクによっては、オートプレイをONにしても、期待どおりに動作しないことがあります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイがONのときは、リピート再生 (**73ページ**) をDISCから変更できません。

再生中に音声や言語を切り換える

DVD **S-DVD**

DVD-V

DVD-VR

DivX®



メモ

- ・内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。



で操作します

再生中に音声タイプ（ドルビーデジタルやDTSなど）や言語を切り換えることができます。

1 再生中に**音声切換**にタッチする

タッチするたびに、音声切り換わります。



メモ

- ・**音声** (AUDIO) ボタンでも同様に操作できます。
- ・この機能は、音声複数収録されている場合だけ操作できます。
- ・ディスクのパッケージにある **Ⓜ** マークの数字が音声の収録数です。
- ・ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- ・デジタルフォーマットインジケータの表示は、DVDに収録されている音声を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。
- ・DivXファイル再生時に音声を切り換えると、再生が一時停止されます。
- ・DivXファイル再生中に音声を切り換え、その後ファイルを切り換えると、音声は切り換える前の状態に戻ります。
- ・音声言語の設定は、DVD設定でもできます (**☞ 96ページ**)。

再生中に字幕言語を切り換える

DVD **S-DVD**

DVD-V

DVD-VR

DivX®



メモ

- ・内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。



で操作します

複数の字幕言語が収録されているディスクでは、再生中に字幕を切り換えることができます。

1 再生中に**字幕切換**にタッチする

タッチするたびに、字幕言語が切り換わります。



メモ

- ・**字幕** (SUB TITLE) ボタンでも同様に操作できます。
- ・この機能は、字幕複数収録されている場合だけ操作できます。
- ・ディスクのパッケージにある **Ⓜ** マークの数字が字幕の収録数です。
- ・ディスクによっては、ディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- ・DivXファイル再生中に字幕を切り換え、その後ファイルを切り換えると、字幕は切り換える前の状態に戻ります。
- ・DivXファイル再生中に字幕を切り換えると、字幕が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- ・字幕言語の設定は、DVD設定でもできます (**☞ 95ページ**)。

再生中にアングルを切り換える

DVD S-DVD

DVD-V



で操作します

複数のアングルが収録されているディスクでは、再生中にアングルを切り換えることができます。

アングル切り換え可能な場面

- 本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左側にマルチアングルマーク () を表示して知らせます。
- マルチアングルマークの表示/非表示は、DVD設定で切り換えることができます (98ページ)。

1 再生中に **アングル切替** にタッチする

タッチするたびに、アングルが切り換わります。



メモ

- (アングル) ボタンでも同様に操作できます。
- この機能は、複数のアングルが収録されている場合だけ操作できます。
- ディスクのパッケージにある マークの数字がアングルの収録数です。

ブックマークを登録する

DVD S-DVD

DVD-V



で操作します

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を登録する機能のことです。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 **ブックマーク** にタッチする

タッチしたときに再生されていた場面が、ブックマークとして登録されます。次回ディスク挿入時、その場面から再生されます。



メモ

- ブックマークの登録内容を消去する場合は、ブックマークキーに長くタッチしてください。ゴミ箱のアイコンが表示され、ブックマークが消去されたことを知らせます。
- ボタンでも同様に操作できます。登録したブックマークを消去する場合は、 ボタンを長く押しします。
- 登録できるブックマークは、ディスク1枚につき1場面です。
- 登録できるブックマークは、ディスク5枚分です。5枚を超えてブックマークを登録した場合は、一番古いブックマーク情報に上書きされます。
- [EJECT] ボタンを長く押しすと、ディスクをイジェクトしながらブックマークが登録されます。この場合、登録できるのはディスク1枚分です。

見たい場所を指定して再生する

DVD S-DVD

DVD-V Video CD	DVD-VR DivX®
-------------------	-----------------



メモ

- ・内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。



で操作します

見たい(聞きたい)場所のチャプターやトラック、時間などを指定して再生できます。また、ビデオCDの再生時は、PBCメニューのメニュー番号を指定して再生できます。

1 **サーチ/10key**、**サーチ**、または**検索**にタッチする

2 希望のサーチ方法のタッチキーにタッチする

DVD-V

TITLE	タイトルサーチ
CHAPTER	チャプターサーチ
TIME	タイムサーチ (再生時間によるサーチ)
10キー	10キー入力

DVD-VR

TITLE	タイトルサーチ
CHAPTER	チャプターサーチ
TIME	タイムサーチ (再生時間によるサーチ)

Video CD

TRACK	トラックサーチ
TIME	タイムサーチ (再生時間によるサーチ)
10キー	10キー入力 (PBCメニュー操作など)

DivX®

—	タイムサーチ (再生時間によるサーチ)
---	------------------------

3 **0**～**9**にタッチして、ナンバーまたは時間を入力する

- ・入力を取り消すときは、**0**にタッチします。
- ・1時間を超える時間を入力するときは、1時間を60分に置き換えて入力します。例えば、1時間11分と入力したいときは、71分と置き換えて、**7**・**1**・**0**・**0**の順にタッチします。

4 **決定**にタッチする

指定した場所から再生されます。



メモ

- ・無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、**0** (禁止マーク) が表示され、入力を取り消される場合があります。
- ・再生停止中は、チャプターサーチやタイムサーチの操作はできません。

タイトルのダイレクトサーチ

ディスクの再生停止中に、リモコンの数字ボタンでタイトルを指定して再生できます。

1 再生停止中に、見たいタイトルナンバーの数字ボタンを押す

指定したタイトルが再生されます。

- ・3を選ぶときは、**3** ボタンを押します。
- ・10を選ぶときは、**1** ・ **0** の順にボタンを押します。
- ・23を選ぶときは、**2** ・ **3** の順にボタンを押します。

PBCメニューの操作




PBC（プレイバックコントロール）機能付きビデオCDを再生している場合、リモコンの数字ボタンでPBCメニューを操作できます。

1 PBCメニュー表示中に、数字ボタンを押して、メニューを選択する

選択したメニューから再生されます。

- 3を選ぶときは、③ ボタンを押します。
- 10を選ぶときは、⑩ ・ ⑩ の順にボタンを押します。
- 23を選ぶときは、⑩ ・ ⑩ ・ ③ の順にボタンを押します。

メモ

- PBC再生中にPBCメニューを表示するには、 (RETURN) ボタンを押します。
- メニュー画面が2ページ以上ある場合、 ボタン /  ボタンを押して、表示を切り換えます。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

ディスクを選ぶ

M-CD **S-DVD**

DVD-V CD	Video CD ROM-Audio
-------------	-----------------------

メモ

- ソースによっては、対応していないメディアがあります。

リスト で操作します

ディスクリストを使って、再生したいディスクが選べます。

1 **リスト** にタッチする

ディスクタイトルリストが表示されます。
 ・ タッチするたびに表示／非表示が切り換わります。

2 **01 : (ディスクタイトル) ~** **12 : (ディスクタイトル) の中から** **聞きたいディスクにタッチする**

選んだディスクを再生します。
 ディスクタイトルは、1~6枚目と7~12枚目の6枚ずつ表示されます。

メモ

- 6枚型のマルチCDプレーヤーやDVDプレーヤーでは、ディスクリストは1~6枚目だけの表示になります。
- **次へ** / **前へ** にタッチして、リストを切り換えることができます。
- 数字ボタン ① ~ ⑥ を押してディスクを選択することもできます。7~12枚目のディスクを選択する場合は、数字ボタン ① ~ ⑥ を長く押します（例えば、7枚目のディスクの場合は ① を長く押す）。

iPodの基本操作

iPod (別売)

iPod

基本的なiPod画面の見かた

iPodを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



リモコンでの基本的な操作

リモコンによるiPodの操作は、AVXモードで行います。

iPodの基本操作には、以下のボタンを使用します。



タッチキーでの基本的な操作

iPodの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	曲を探す (<small>参照</small> 50ページ)
	メインメニューを表示する (<small>参照</small> 104ページ)
	再生を一時停止する 一時停止中にタッチすると、 再生を開始します。
	タッチ：曲を進める 長くタッチ：早送りをする
	タッチ：曲を戻す 長くタッチ：早戻しをする
	再生中の曲の詳細情報の表示/ 非表示を切り換える
	リピート再生する範囲を 切り換える
タッチするたびに、リピートの範囲が切り換わります。	
1曲 → 全て	
	シャッフル再生する範囲を 切り換える
タッチするたびに、シャッフル再生の範囲が切り換わります。	
OFF → 曲 → アルバム	
	情報プレートの表示内容を 切り換える (<small>参照</small> 50ページ)

情報プレートの表示内容を切り換える

情報 で操作します

情報プレートの表示内容を切り換えることができます。

1 **情報** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ソングタイトル → アーティスト名
→ アルバム名

メモ

- 文字情報が入力されていない場合は、「NO XXXX (例：NO TITLE)」と表示されます。
- 本機が表示できない文字がiPodに記録されている場合、その文字は表示されません。

曲を探す

曲を探す で操作します

iPodのプレイリストから、プレイリストや曲を選んで再生できます。また、ジャンル、アーティスト、アルバムなどのリストから、曲を選んで再生できます。

1 **曲を探す** にタッチする

リスト選択画面に切り換わります。

2 表示したいリスト項目にタッチする

プレイリスト	On-the-Goやトップ25、トッププレートなどから選曲できます。
アーティスト	アーティスト名から選曲できます。
アルバム	アルバム名から選曲できます。
曲	曲名で直接選曲します。
ジャンル	ジャンル名から選曲できます。

次へ / **前へ** にタッチすると、次や前のリストを表示します。

- **U** にタッチすると、1つ上の階層に戻ります。
- アーティスト、アルバム、ジャンルで選んだ項目を長くタッチすると、選んだ内容で再生を開始します。

3 リストを繰り返し操作して、選曲する

手順2の操作を参照して、選曲します。曲が選択されると、再生が始まります。

メモ

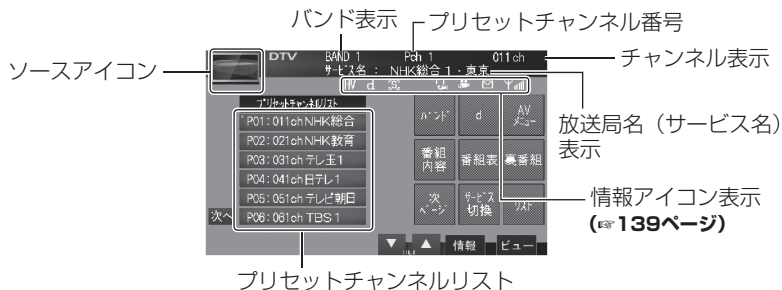
- 本機が表示できない文字がiPodに記録されている場合、その文字は表示されません。

地上デジタルテレビ（別売）

DTV

基本的な地上デジタルテレビ画面の見かた

地上デジタルテレビを見るときには、画面には、以下のような情報が表示されます。



リモコンでの基本的な操作

リモコンによる操作は、DTVモードとAVXモードで行います。

基本操作には、以下のボタンを使用します。

DTVモード

- (D/P)** バンドを切り換える
- 戻る** 番組表などで、1つ前の画面に戻る
- 2画面** 2画面表示に切り換える
- ESC** 番組表などから、ソース画面に戻る
- 音声** 音声を切り換える
- 字幕** 字幕を切り換える
- 映像** 映像を切り換える
- シフト** タイムシフト画面を表示する
- 番組表** 番組表を表示する
- 放送中** 放送中の番組一覧を表示する
- 番組内容** 番組内容を表示する
- d** データ放送を表示する
- 戻る** 番組表およびデータ放送の画面で、各種の操作をする。それぞれのボタンが対応する機能は、画面に表示されます
- ①-⑫チャンネル番号を入力する
長く押す: プリセットチャンネルに登録する



AVXモード

- バンドを切り換える**: D/P button
- 上下へ倒す**: プリセットチャンネルによる選局
- 左右へ倒す**: 手動選局
- 左右へ長く倒す**: 自動選局
- センターを押す**: メインメニューを表示
- 押す**: プリセットチャンネルによる選局
- 長く押す**: プリセットチャンネルに登録

タッチキーでの基本的な操作

地上デジタルテレビの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	バンドを切り換える (☎ 56ページ)
	データ放送を表示する (☎ 59ページ)
	メインメニューを表示する (☎ 78ページ)
	番組内容を確認する (☎ 60ページ)
	番組表を確認する (☎ 60ページ)
	放送中の番組一覧を見る (☎ 61ページ)
	ワンセグ放送やデータ放送を見る (☎ 62ページ)
	リストを切り換える (☎ 57ページ)
	タッチキーを切り換える
	タッチキーを切り換える
	2画面表示に切り換える (☎ 62ページ)
	タイムシフト画面を表示する (☎ 63ページ)
	映像を切り換える (☎ 64ページ)

	音声を切り換える (☎ 64ページ)
	字幕を切り換える (☎ 65ページ)
	1つ前に選局していた チャンネルに戻る
	情報プレートの表示内容を 切り換える (☎ 56ページ)

ご注意

- 地上デジタルTVチューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。
- この取扱説明書で説明している地上デジタルTVチューナーの操作は、「GEX-P90DTV」を組み合わせた場合のもので、
- 組み合わせた地上デジタルTVチューナーによっては、使用できる機能が異なる場合があります。

テレビ（別売）

TV

基本的なテレビ画面の見かた

テレビを見るときには、以下のような情報が表示されます。



リモコンでの基本的な操作








リモコンによるテレビの操作は、AVXモードで行います。

テレビの基本操作には、以下のボタンを使用します。



タッチキーでの基本的な操作

テレビの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	<p>バンドを切り換える タッチするたびに、バンドが切り換わります。 BAND1 → BAND2</p>
	<p>チャンネル番号による選局をする タッチ：手動選局 長くタッチ：自動選局</p>
	<p>チャンネル番号による選局をする タッチ：手動選局 長くタッチ：自動選局</p>
	<p>プリセットチャンネルリスト 非表示時： 次のプリセットチャンネルを選局する</p>
	<p>プリセットチャンネルリスト 非表示時： 前のプリセットチャンネルを選局する</p>
	<p>プリセットチャンネルリストの表示／非表示を切り換える (※ 57ページ)</p>
	<p>メインメニューを表示する (※ 78ページ)</p>

情報プレートの表示内容を切り換える

DTV

情報 で操作します

情報プレートの表示内容を切り換えることができます。

1 **情報** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

サービス名 → 番組名 → 放送事業者名
→ 映像／音声／字幕

バンドを切り換える

DTV TV

バンド で操作します




地上デジタルテレビとテレビでそれぞれ、2つのバンドを切り換えることができます。

1 **バンド** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

BAND 1 (バンド1)
→ BAND 2 (バンド2)

メモ

-  (BAND/ESC) ボタンでも同様に操作できます。
- 地上デジタルTVおよびテレビを見ているときは、バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くのチャンネルを登録できます。例えば、バンド1にはふだん使用する地域のチャンネルを登録しておきます。旅行などで受信チャンネルが異なる地域に移動したときは、バンド2に切り換えてチャンネルスキャン ( **80ページ**) やBSSM ( **91ページ**) を行うと便利です。

チャンネルリストで選局する

DTV TV

リスト で操作します

リストを使って、見たいチャンネルが選べます。

1 リスト にタッチする

地上デジタルテレビの場合

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

- プリセットチャンネルリスト
- サービスリスト
- エリアプリセットリスト
- リストOFF

テレビの場合

プリセットチャンネルリストが表示されます。

- ・タッチするたびに表示／非表示が切り換わります。

2 チャンネルを選んでタッチする

選んだチャンネルが選局されます。

メモ

- ・エリアプリセットでは、放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できないことや受信した放送局が表示と異なることがあります。更新データのダウンロード（※ 87ページ）が実行されると、改善されます。

プリセットチャンネルリストから放送局を選ぶ

DTV TV

リスト ↑ ↓ で操作します

プリセットチャンネルリストでは、バンドごとにそれぞれ12局まで放送局を登録できます。

1 P01：～P06：の中から希望の放送局やチャンネルにタッチする

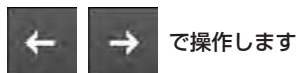
選んだ放送局やチャンネルを受信します。

メモ

- ・地上デジタルテレビの場合、↑ / ↓ は表示されません。ジョイスティック（サムパッド）で操作してください。
- ・テレビの場合、プリセットチャンネルリストを表示していないときに、↑ / ↓ にタッチするとプリセットチャンネル選局ができます。
- ・「次へ」にタッチすると P07 ～ P12 に切り換えることができます。P01 ～ P06 に戻るときは、「前へ」にタッチします。
- ・数字ボタン① ～ ⑥ を押して選局することもできます。ただし、P07 ～ P12 は選ぶことができません。
- ・ジョイスティック（サムパッド）を上下に操作して選ぶこともできます。

マニュアル選局で 放送局を選ぶ

TV



1 ← / → にタッチする

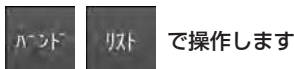
周波数やチャンネルが切り換わります。

メモ

- ジョイスティック（サムパッド）を左右に操作して選ぶこともできます。
- ← / → にタッチし続けるか、ジョイスティック（サムパッド）を左右に長く操作してから離すと、シーク（自動選局）モードになります。

プリセットチャンネル リストへ放送局を登録する

DTV TV



放送局をバンドごとに12局ずつプリセットチャンネルリストへ登録できます。この機能では、お好みの放送局をお好みの順番で登録できます。

1 **バンド** にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

- リストが表示されていない場合は、**リスト** にタッチしてリストを表示します。

2 登録したい放送局を受信する

3 登録したいリストの番号に長くタッチする

選んだ番号に放送局名（または周波数）が表示され、登録が完了します。


メモ



- 続けて登録できます。
- 数字ボタン①～⑥を長く押すことでも登録できます。

受信可能な中継局を探す

DTV



 リスト で操作します

エリアプリセットで同じ放送局の別エリアの中継局が存在する場合は、放送局名の右側に  が表示されます。受信状態が悪くなった場合などに、次の操作で受信可能な中継局を探して切り換えることができます。

1  にタッチして、エリアプリセットリストにする
( 57ページ)

2 受信中の放送局名にタッチする

 メモ

- 「オート放送局サーチ設定」で、「中継+系列」または「中継局」を設定しておく、エリア内の受信状態の良い中継局に自動で切り換えることができます ( 82ページ)。
- エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン ( 80ページ) をしてください。

データ連動放送を見る


DTV

 で操作します

データ連動放送を表示します。画面の説明に従って操作すると、放送中の番組に連動した情報を見ることができます。(操作のしかたは番組によって異なります。)

1  にタッチする

タッチすると、データ放送を表示します。

-  で操作することもできます。

2 サムパッドを上下左右に操作して項目を選び、サムパッドのセンターを押して決定する

3  /  /  /  ボタンを押す

それぞれのボタンが対応する機能や表示の内容は、その都度、画面に現れます。

番組内容を確認する

DTV


番組
内容

で操作します

現在視聴している番組の詳細情報を表示します。

1 番組内容 にタッチする

タッチすると、番組内容を表示します。

- ・  で操作することもできます。

2 / にタッチする

内容をスクロールします。

- ・ サムパッドで操作することもできます。

番組表で番組を選ぶ

DTV

番組表

で操作します


番組表を表示して、番組を選ぶことができます。

番組表を見る

地上デジタルTVチューナーが取得したチャンネルの番組表を表示できます。取得できる番組表は、最大1週間先までです。

1 番組表 にタッチする

番組表を表示します。

- ・  で操作することもできます。





2 / にタッチする

放送局をスクロールします。

3 / にタッチする

時間をスクロールします。

4 カラーキーにタッチする

	前日の番組表に切り換えます。
	翌日の番組表に切り換えます。
	ジャンル検索の画面に切り換えます。
	番組表に表示するチャンネル数を切り換えます。タッチするたびに、以下のように切り換わります。 1チャンネル分 → 4チャンネル分 → 7チャンネル分

見たい番組を番組表から選ぶ

放送中の番組およびこれから放送される番組の情報を見ることができます。

1 番組表の表示中に、サムパッドを上下左右に操作して番組を選び、サムパッドのセンターを押して決定する

放送中の番組の場合、その番組に切り換わります。これから放送される番組の場合、その番組の詳細情報が表示されます（※ 60ページ）。

見たい番組をジャンルで選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索できます。



メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

1 番組表の表示中に、緑にタッチする

ジャンル検索の画面を表示します。

- Ⓜで操作することもできます。

2 見たい番組のジャンルにタッチする

そのジャンルに該当する番組を表示します。

- サムパッドで操作することもできます。

3 見たい番組にタッチする

放送中の番組の場合、その番組に切り換わります。

これから放送される番組の場合、その番組の情報を表示します。

- サムパッドで操作することもできます。



メモ

- ジャンル検索の画面でジャンルごとに色を設定すると、番組表上で番組を色分けできます。色を設定するには、ジャンル検索の画面でサムパッドを操作してジャンルを選び、カラーボタンを押します（カラーキーにタッチします）。

現在放送中の 番組一覧を見る

DTV

裏番組 で操作します

現在放送している全チャンネルの番組表を表示します。

1 裏番組 にタッチする

タッチすると、現在放送中の全チャンネルの番組表を表示します。

- Ⓜで操作することもできます。

2 チャンネルを選んでタッチする

そのチャンネルに切り換わります。

- サムパッドで操作することもできます。

ワンセグ放送や データ放送を見る

DTV



で操作します

1つのチャンネルに複数のテレビ番組や独立データ番組、ワンセグがあるときに切り換えます。

1 サービス切替 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

通常放送 → 独立データ放送
→ ワンセグ

2画面で表示する

DTV



で操作します

通常放送とワンセグを2画面（メイン、サブ）で表示することができます。

1 2画面 にタッチする

前回受信していたワンセグのサービスがサブ画面に表示されます。

- で操作することもできます。



メモ

- 音声は、メイン画面の番組のものだけが出力されます。
- **2画面** にもう一度タッチすると、サブ画面を消して1画面に戻ります。
- ジョイスティックの中央を押すと、メイン画面とサブ画面が入れ替わります。
- 2画面表示では、サブ画面の表示位置をあらかじめ設定することができます（※ **83ページ**）。

サブ画面を操作する

1 ジョイスティックを操作する

上下へ倒す	プリセットチャンネルによる選局をします
左右へ倒す	手動選局をします
センターを押す	メイン画面とサブ画面が入れ替わります

もう一度、放送を見直す (タイムシフト)

DTV



で操作します

現在見ている放送にワンセグがある場合、本機では常時10分前までのワンセグを録画しています。例えば、良いシーンを見逃した場合など、見直すことができます。

録画してあるワンセグを再生する (タイムシフト再生)

本機に録画されたワンセグを再生します。

1 タイムシフトにタッチする

タイムバーが表示され、現在より数秒前から再生が始まります。

- ・ **[ESC]** で操作することもできます。

メモ

- ・ タイムシフト再生中も録画は続いており、10分前の映像は順次消去されます。再生を開始したタイミングや早戻しの操作をしている時間により、見たい映像が消去されている場合があります。
- ・ タイムシフトは、以下の条件で消去されます。
 - 一本システムの電源をOFFにした場合
 - ソースを切り換えた場合
 - チャンネルを切り換えた場合
 - 中継局や系列局が切り変わった場合
 - 独立データ放送などサービスを切り換えた場合
 - 全国チャンネル一覧などデータのダウンロードを開始した場合
- ・ **[ESC]** を押すと、タイムバーを非表示にできます。
- ・ 再生位置を登録すると、登録したシーンから再生できます (**[ESC]** 本ページ)。

早戻し／早送り／ スキップ／バックをする

再生中の映像を、一定時間だけ早戻し／早送り／スキップ／バックをします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 タイムシフト再生中に、ジョイスティックを上下左右に操作する

上下左右に倒すたびに、以下のように切り換わります。

上に倒す	スキップ：30秒→1分 →1分30秒→2分→ →2分30秒→3分先へスキップします
------	---

下に倒す	バック：5秒→15秒 →30秒→1分→2分 →3分→5分→7分 →10分前へバックします。
------	--

左に倒す	早戻し1→早戻し2 →早戻し3
------	--------------------

右に倒す	早送り1→早送り2 →早送り3
------	--------------------

- ・ サムパッドで操作することもできます。

再生位置を登録する

再生位置を登録すると、登録したシーンから再生できます (**[ESC]** 本ページ)。

1 タイムシフトに長くタッチする

「インデックスを書き込みました」と表示し、再生位置が登録されます。

映像を切り換える

DTV


映像
切換

で操作します

番組によっては、複数のカメラで撮影した映像を放送しているものがあります。そのような番組を受信しているときに、映像を切り換えることができます。(切り換わる内容は番組によって異なります。)

1 映像切換 にタッチする

タッチするたびに、映像が切り換わります。

-  で操作することもできます。

音声を切り換える

DTV


音声
切換

で操作します

番組によっては、2カ国語放送のように、複数の音声を放送しているものがあります。そのような番組を視聴しているときに、音声を切り換えることができます。(切り換わる内容は番組によって異なります。)

1 音声切換 にタッチする

タッチするたびに、音声切り換わります。

-  で操作することもできます。

字幕を切り換える

DTV**字幕
切換**

で操作します

番組によっては、字幕放送に対応しているものがあります。そのような番組を視聴しているときに、字幕を表示させることができます。(字幕の内容は番組によって異なります。)

1 **字幕切換** にタッチする

タッチするたびに、字幕が切り換わります。

- **字幕切換** で操作することもできます。

ナビゲーションユニットの基本操作

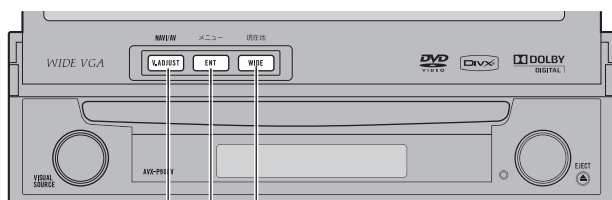
ナビゲーションユニット（別売）

ご注意

- 本機は、ナビゲーションユニットのタッチキー操作に対応しています。
- ナビゲーションの操作・ナビゲーションソースの操作については、接続したナビゲーションユニットの取扱説明書をご覧ください。

本体のボタンでの基本的な操作

ナビゲーションユニットの操作には、以下のボタンが使用できます。



押す：現在地を表示します。

押す：ナビゲーションのメニュー画面を表示します。

押す：ナビゲーション画面とソース画を切り換えます。

タッチキーでの基本的な操作 (ナビゲーションソース)

ナビゲーションソース (N-DVDおよびM.S.V) 再生時の基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

N-DVD

ご注意

- エンタテインメントメニュー(※ 116ページ)で、OFF以外を選んでいるときに、タッチキーが表示されます。



メインメニューを表示する



次のタイトルを選ぶ



前のタイトルを選ぶ



タッチ：前のチャプターを選ぶ
長くタッチ：早戻しをする



タッチ：次のチャプターを選ぶ
長くタッチ：早送りをする

M.S.V

ご注意

- エンタテインメントメニュー(※ 116ページ)で、OFF以外を選んでいるときに、タッチキーが表示されます。



メインメニューを表示する



次のプレイリストを選ぶ



前のプレイリストを選ぶ



タッチ：前のトラックを選ぶ
長くタッチ：早戻しをする



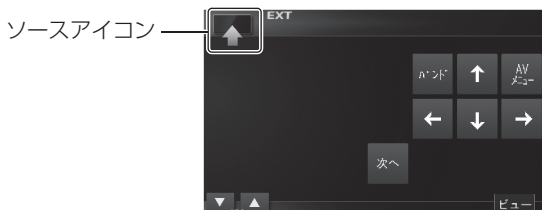
タッチ：次のトラックを選ぶ
長くタッチ：早送りをする

エクスターナルユニットの基本操作

エクスターナルユニット（別売）

基本的な画面の見かた

本機は、マルチMDプレーヤーなどをエクスターナルユニットとして操作できます。



リモコンでの基本的な操作











リモコンによるエクスターナルユニットの操作は、AVXモードで行います。

エクスターナルユニットの基本操作には、以下のボタンを使用します。



タッチキーでの基本的な操作

エクスターナルユニットの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

	接続するエクスターナルユニットによって異なる
	メインメニューを表示する
	接続するエクスターナルユニットによって異なる
	接続するエクスターナルユニットによって異なる
	接続するエクスターナルユニットによって異なる
	接続するエクスターナルユニットによって異なる
	タッチキーを切り換える
	タッチキーを切り換える
 ~	接続するエクスターナルユニットによって異なる
	

エクスターナルユニット

- エクスターナルユニットとは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。

メモ

- 本機では、エクスターナルユニット (EXT) を最大2台まで接続・コントロールできます。ただし、EXT-1とEXT-2のどちらに切り換えても「EXT」と表示されます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、EXT-1とEXT-2が自動的に設定されます。
- 映像出力がある機器をエクスターナルユニットとして接続した場合、「AV入力を設定する」(※ 105ページ) で「EXT-V」を選択する必要があります。

機能設定メニューの操作

1 **AVメニュー** にタッチする

メインメニューが表示されます。



2 **機能設定** にタッチする

機能設定メニューが表示されます。

3 **ファンクション1** ~ **ファンクション4**、**オート/マニュアル** にタッチする

タッチするたびに、設定内容が切り換わります。

メモ

- **終了** にタッチするか、 (BAND/ESC) ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、 (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

ディスク再生の機能設定メニューを使う

機能設定メニューを表示する

1 DVD、S-DVD、M-CDソースを選んでいるときに、**AVメニュー**にタッチする

メインメニューが表示されます。



2 **機能設定** にタッチする

機能設定メニューが表示されます。



メモ

- **終了** にタッチするか、**バンド/ESC** (BAND/ESC) ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、**バック** (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

機能設定メニュー一覧

DVD

DVD-V

DVD-VR

Video CD



リピート
DISC

リピート再生する
(**73**ページ)

L/R切換
L+R

音声の出力方法を切り換える
(**75**ページ)

エンプレッション
OFF

音を聞きやすくする
(**77**ページ)

DVD

CD

ROM-Audio



リピート
DISC

リピート再生する
(参照 73ページ)

ランダム
OFF

ランダム再生する
(参照 74ページ)

スキャン
OFF

スキャン再生する
(参照 74ページ)

エンプレッション
OFF

音を聞きやすくする
(参照 77ページ)

DVD

DivX®



リピート
DISC

リピート再生する
(参照 73ページ)

エンプレッション
OFF

音を聞きやすくする
(参照 77ページ)

DVD

JPEG



リピート
DISC

リピート再生する
(参照 73ページ)

ランダム
OFF

ランダム再生する
(参照 74ページ)

S-DVD

DVD-V

Video CD



リピート
DISC

リピート再生する
(※ 73ページ)

L/R切換
L+R

音声の出力方法を切り換える
(※ 75ページ)

CD

ROM-Audio



リピート
DISC

リピート再生する
(※ 73ページ)

ランダム
OFF

ランダム再生する
(※ 74ページ)

スキャン
OFF

スキャン再生する
(※ 74ページ)

M-CD

CD



リピート
DISC

リピート再生する
(※ 73ページ)

ランダム
OFF

ランダム再生する
(※ 74ページ)

スキャン
OFF

スキャン再生する
(※ 74ページ)

COMP/DBE
OFF

音を聞きやすくする
(※ 77ページ)

ITS PLAY
OFF

ITSリストから再生する
(※ 76ページ)

ITS 再生

ITSリストを作る
(※ 75ページ)

リピート再生する

DVD **S-DVD** **M-CD**



メモ

- ・内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。

リピート
DISC

で操作します

リピート再生では、繰り返し再生する範囲を選択できます。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 70ページ)

2 リピートにタッチする

タッチするたびに、リピート再生する範囲が切り換わります。

次の表を参照して、リピート範囲を選択してください。

	DVD-V	DVD-VR
DISC	再生中のディスク全体を繰り返し再生します	
CHAPTER		現在再生中のチャプターを繰り返し再生します
TITLE		現在再生中のタイトルを繰り返し再生します

	Video CD
DISC	再生中のディスク全体を繰り返し再生します

TRACK	現在再生中のトラックを繰り返し再生します
-------	----------------------

	CD
MULTI-CD	(マルチCDでのCD再生時) マルチCD内のディスクを通して再生します

TRACK	現在再生中のトラックを繰り返し再生します
-------	----------------------

DISC	再生中のディスク全体を繰り返し再生します
------	----------------------

	ROM-Audio	DivX®
DISC	再生中のディスク全体を繰り返し再生します	

FOLDER	現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します
--------	-----------------------

FILE	現在再生中のファイルを繰り返し再生します
------	----------------------

	JPEG
DISC	再生中のディスク全体を繰り返し再生します
FOLDER	現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します

選んだリピート範囲で、リピート再生します。



メモ

- ・ソース画面表示中に、**ピュ**にタッチすると、リピート再生の情報を確認できます。
- ・リピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行うと、リピート再生は解除されます。
- ・オートプレイ (※ 42ページ) がONのときは、リピート再生できません。

ランダム再生する

DVD **S-DVD** **M-CD**

CD **ROM-Audio** **JPEG**



メモ

- 内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。

ランダム
OFF

で操作します

選んだリピートの範囲内で、順番をランダムに変えて再生します。

リピート範囲とランダム再生の関係

- リピート範囲がDISCのとき
ディスク内の曲をランダムに再生します。
- リピート範囲がFOLDERのとき
フォルダー内の曲をランダムに再生します。
- リピート範囲がMULTI-CDのとき
マルチCD内のすべてのディスク・トラックをランダムに再生します。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 70ページ)

2 **ランダム** にタッチする

ランダム再生が始まります。
ランダム再生をやめるときは、もう一度 **ランダム** にタッチします。



メモ

- リピートの範囲がTRACKまたはFILEの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲がDISCまたはFOLDERに自動的に切り換わります。
- ソース画面表示中に、**ピュア**にタッチすると、ランダム再生の情報を確認できます。

スキャン再生する

DVD **S-DVD** **M-CD**

CD **ROM-Audio**



メモ

- 内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。

スキャン
OFF

で操作します

選んだリピートの範囲内で、曲やフォルダー、ディスクのはじめの部分(約10秒間)だけを次々に再生します。

リピート範囲とスキャン再生の関係

- リピート範囲がDISCのとき
CDでは、曲のスキャンを行います。
ROM-Audioでは、フォルダーのスキャンを行います。
- リピート範囲がFOLDERのとき
曲のスキャンを行います。
- リピート範囲がMULTI-CDのとき
ディスクのスキャンを行います。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 70ページ)

2 **スキャン** にタッチする

スキャン再生が始まります。

3 聞きたい曲、フォルダー、またはディスクが再生されたら、もう一度 **スキャン** にタッチする



メモ

- スキャン再生を始めた曲、フォルダー、またはディスクまで戻ると、スキャン再生は解除されます。

音声の出力方法を切り換える

DVD S-DVD

DVD-V

DVD-VR

Video CD



メモ

- ・内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。

L/R切換
L+R

で操作します

音声の出力方法をステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 70ページ)

2 L/R切換 にタッチする

押すたびに、以下のように切り換わります。

ステレオ (L+R)

→ モノラル左 (LEFT)

→ モノラル右 (RIGHT)

→ 左右ミックス (MIX)



メモ

- ・S-DVDの場合、左右ミックス (MIX) は選択できません。
- ・DVDビデオでは、LPCMのときだけ音声の出力方法を切り換えることができます。
- ・DVD-R/RWのビデオレコーディングフォーマット (VRモード) では、音声多重放送が録画されているときだけ、音声の出力方法を切り換えることができます。
- ・音声多重放送をDVD-R/RWのVRモードで録画すると、左チャンネルに主音声、右チャンネルに副音声記録されます。この場合、主音声と副音声の切り換えは **L/R切換** で行います。

ITSを使う

M-CD

CD

聞きたい曲をITSであらかじめ指定すると、指定した曲だけを再生できます。



ITS

- ・ITSとは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。



メモ

- ・曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDでの指定は解除されません。
- ・CD1枚につき、99曲まで指定できます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、指定できる曲が24曲目までになります。)
- ・ITSは、CD100枚分まで指定できます。
- ・100枚を超えたときは、一番古い指定内容が解除されて、新しいCDでの曲の指定が登録されます。

ITSリストを作る

ITS 切換 で操作します

1 ITSに指定したい曲の入ったディスクを再生する

2 機能設定メニューを表示する

(※ 70ページ)

次ページへ続く

3 **ITSメモリ** にタッチする

ITSコントロール画面が表示されます。



4 ◀ / ▶ にタッチして、指定したい曲を選択する

5 **メモリ** にタッチして、曲を指定する

指定した曲がリストに入ります。

6 **終了** にタッチする

ソース画面に戻ります。

ITSリストから再生する

ITS PLAY OFF で操作します

選択した範囲（リピート範囲）で、ITS指定した曲だけを再生します。

1 リピート範囲を選択しておく

(☞ 73ページ)

2 機能設定メニューを表示する

(☞ 70ページ)

3 **ITS PLAY** にタッチする

選択した範囲内で、ITS再生が始まります。

ITS再生をやめるときは、もう一度 **ITS PLAY** にタッチします。

メモ

- 手順1で選択したリピート範囲内に指定した曲がない場合は、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

ITSリストから曲の指定を解除する

ITS 再生 で操作します

メモ

- ITS PLAYの設定がONのときは、1曲ずつ解除します。
- ITS PLAYの設定がOFFのときは、再生中のディスクでITS指定された曲をすべて解除します。この場合は、手順4で曲を選択する必要はありません。

1 ITSに指定した曲の入ったディスクを再生する

2 機能設定メニューを表示する (☞ 70ページ)

3 **ITSメモリ** にタッチする

ITSコントロール画面が表示されます。



4 ◀ / ▶ にタッチして、指定を解除したい曲を選択する

5 **クリア** にタッチして、曲の指定を解除する

指定した曲が解除されます。

6 **終了** にタッチする

ソース画面に戻ります。

音を聞きやすくする

DVD M-CD

DVD-V	DVD-VR	Video CD
CD	ROM-Audio	DivX®

メモ

- 内蔵DVDプレーヤー以外のソースでは、対応していないメディアがあります。

コンプレッション
OFF

COMP/DBE
OFF

で操作します

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。

コンプレッション/COMP

- COMPとは、「COMPression」の略です。コンプレッション/COMPは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。小さな音が聞き取りにくいときにお使いになると効果的です。

DBE

- DBEとは、「Dynamic Bass Emphasis」の略で、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。車内で低音域が不足したように聞こえるときにお使いになると効果的です。

ご注意

- DBEは、COMP/DBE機能付きのマルチCDプレーヤーを接続したときに操作できます。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 70ページ)

2 **コンプレッション** または **COMP/DBE** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

コンプレッション OFF→COMP1
→COMP2→OFF

COMP/DBE OFF→COMP1
→COMP2→OFF
→DBE1→DBE2→OFF

メモ

- COMPとDBEはどちらも、1より2のほうが効果が大きくなります。

機能設定メニューを表示する

1 AVメニューにタッチする

メインメニューが表示されます。



2 機能設定にタッチする

機能設定メニューが表示されます。

メモ

- **終了** にタッチするか、**(BAND/ESC)** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、**(BACK)** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

ご注意

- 地上デジタルTVチューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。
- この取扱説明書で説明している地上デジタルTVチューナーの操作は、「GEX-P90DTV」を組み合わせた場合のものです。
- 組み合わせた地上デジタルTVチューナーによっては、使用できる機能が異なる場合があります。

機能設定メニュー一覧

DTV

1ページ目



- | | |
|------------------------------------|---|
| スキャン
取得
OFF | 地上デジタル放送のチャンネルを自動で登録する
(※ 80ページ) |
| 番組情報
取得
OFF | 放送中の番組情報を自動で取得する
(※ 81ページ) |
| 12セグワンセグ
自動切替設定
標準 | ワンセグ放送への切り換え方法を設定する
(※ 81ページ) |
| 中継局または系列局
サーチ設定
OFF | 中継局または系列局への切り換え方法を設定する
(※ 82ページ) |
| 2画面表示
設定
右下 | 2画面表示でサブ画面を表示する位置を設定する
(※ 83ページ) |
| 文字スーパー
表示設定
第1言語 | 文字情報の表示内容を設定する
(※ 83ページ) |
| イベント
設定
手動切替 | 放送延長時の番組追従設定を切り換える
(※ 84ページ) |
| 緊急警報
放送設定
自動切替 | 緊急警報放送の受信方法を設定する
(※ 84ページ) |
| 選局モード
設定
12セグワンセグ | 選局の対象にする放送を設定する
(※ 85ページ) |

2ページ目

- オーディオレベル
設定
0dB

音声レベルを設定する
(☞ 85ページ)
- 地域設定

地域名を入力して
使用する地域を設定する
(☞ 86ページ)
- 郵便番号
入力

郵便番号を入力して
使用する地域を設定する
(☞ 86ページ)
- ダウンロード
設定
OFF

更新プログラムの
ダウンロードを設定する
(☞ 87ページ)
- 番組名称情報
取得設定
OFF

番組情報を自動で取得する
設定にする
(☞ 87ページ)
- 視聴者設定
クリア

地上デジタルTVチューナーの
設定内容を消去する
(☞ 88ページ)
- 番組表表示
設定
マイチャンネル

表示する番組表の種類を設定す
る
(☞ 88ページ)
- 4チューナー
設定
受信優先

受信性能と機能のどちらを優先
するかを設定する
(☞ 89ページ)
- お知らせ
メッセージ

お知らせメッセージを
表示する
(☞ 89ページ)

3ページ目

- バージョン
情報

地上デジタルTVチューナーの
バージョン情報を表示する
(☞ 90ページ)
- 映像出力
設定
DVI固定

モニターの映像出力設定を
切り換える
(☞ 90ページ)
- デジタルオーディオ
設定
AAC

光デジタルの出力形式を
切り換える
(☞ 91ページ)

TV



BSSM
OFF

受信状態の良い放送局を
自動で登録する
(※ 91ページ)

音声多重
MAIN

音声多重放送の音声を
切り換える
(※ 92ページ)

チャンネルを自動で登録する (チャンネルスキャン)

DTV

スキャン
OFF

で操作します

受信状態の良い放送局をプリセットチャンネルリストに自動で登録できます。

1 登録したいバンドを選ぶ

(※ 56ページ)

2 機能設定メニューを表示する

(※ 78ページ)

3 **スキャン** にタッチする

チャンネルスキャンが始まります。スキャン動作中は、「スキャン中」と表示されます。

チャンネルスキャンが終了すると、プリセットメモリーとスキャンメモリーの両方に、放送局が登録されます。

メモ

- チャンネルスキャンをやめるときは、**スキャン** にタッチします。

番組情報取得を設定する

DTV

番組情報
取得
OFF

で操作します

放送中の番組情報を自動で取得します。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 番組情報取得 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ON → OFF

ONにした時点で、番組情報の取得を開始します。取得が終わると、OFFになります。

ワンセグ放送への切り換え方法を設定する

DTV

12セグ・ワンセグ
自動切換設定
標準

で操作します

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグの切り換えを自動でするか手動でするかを設定します。

切り換え方法の種類

12セグ優先

通常の放送の受信を優先します。

標準

受信状況に応じて、通常の放送とワンセグを自動で切り換えます。

ワンセグ優先

ワンセグの受信を優先します。

手動切換

通常の放送とワンセグを手動で切り換えます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 12セグ・ワンセグ自動切換設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

12セグ優先 → 標準 → ワンセグ優先
→ 手動切換

メモ

- 「標準」を選んでも、受信状況などによっては、自動でワンセグ放送に切り換わらないことがあります。このような場合は、基本画面の **サービス切換** (☞ 62ページ) をタッチして、手動で切り換えてください。

中継局または系列局への 切り換え方法を設定する

DTV

オート放送局
サーチ設定
OFF

で操作します

受信感度の強い中継局または系列局に自動で切り換えることができます。

- 中継局サーチおよび系列局サーチが動作しない場合は、チャンネルスキャン (※ 80ページ) をしてください。そのうえで、スキャンメモリー、プリセットメモリー、またはエリアプリセットメモリーから選局してください。

切り換え方法の種類

中継局

受信感度の強い中継局に自動で切り換えます。

中継+系列

受信感度の強い中継局、なければ系列局に自動で切り換えます。

OFF

中継局を切り換えません。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 78ページ)

2 オート放送局サーチ設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

中継局 → 中継+系列 → OFF

メモ

- 中継局サーチおよび中継+系列サーチは、内部データを基に選局先を探します。内部データが最新でない場合、新たに開局したチャンネルを探すことができません。ダウンロード設定 (※ 87ページ) をONにし、常に最新の内部データにしておいてください。
- 受信できるチャンネルがない場合など、中継局や系列局に切り換えられないことがあります。
- 送信局は各地域ごとに親局があり、さらにその親局が管轄する中継局があります。中継局サーチは同じ親の中継局を自動で切り換える機能です。このため、親局が違うエリアに入ると、中継局サーチは動作しません。その場合は、系列局サーチを行います。

2画面表示でサブ画面を表示する位置を設定する

DTV

2画面表示
設定
右下

で操作します

2画面表示をした場合のサブ画面の表示位置を設定できます。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 78ページ)

2 **2画面表示設定** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

右下 → 右上 → 左上 → 左下

文字情報の表示内容を設定する

DTV

文字スーパー
表示設定
第1言語

で操作します

文字スーパーの言語や表示を設定できます。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 78ページ)

2 **文字スーパー表示設定** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

第1言語 → 第2言語 → 表示しない

放送延長時の番組追従設定 を切り換える

DTV

イベント
設定
手動切換

で操作します

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、チャンネルの切り換えを自動にするか手動にするか設定できます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 イベントリレー設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

手動切換 → 自動切換

緊急警報放送の 受信方法を設定する

DTV

緊急警報
放送設定
自動切換

で操作します

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルの切り換えを自動にするか手動にするか設定できます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 緊急警報放送設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

自動切換 → 手動切換

選局モードを切り換える

DTV

選局モード
設定
12セグ+ワンセグ

で操作します

選局の対象にする放送を設定できます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 選局モード設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

12セグ+ワンセグ

→ 12セグ

→ ワンセグ

音声レベルを設定する

DTV

オーディオレベル
設定
0dB

で操作します

地上デジタルテレビからほかのソースに切り換えたとき、音量に違いが出ないように音声レベルを変更できます。

切り換えできるレベル

0dB

本機の音声をそのまま出力します。

5dB

本機の音声レベルを5 dB高くして出力します。

10dB

本機の音声レベルを10 dB高くして出力します。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 次へ にタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 オーディオレベル設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

0dB → 5dB → 10dB

メモ

- 本機の音量が小さいときに切り換えます（通常は0 dBのままでお使いください）。
- 5 dBや10 dBに切り換えたとき、放送によっては音がひずみます。ひずみが気になるときは、低いレベルに切り換えてください。
- 本機を経由したIP-BUS機器の音声レベルは変更されません。

地域名を入力して 使用する地域を設定する

DTV

地域設定 で操作します

地上デジタルテレビをお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 **次へ** にタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 **地域設定** にタッチする

地域名選択画面に切り換わります。

4 希望の地域名にタッチする

希望の地域名がない場合は、**前へ**／**次へ** を押して表示を切り換えてください。

郵便番号を入力して 使用する地域を設定する

DTV

**郵便番号
入力** で操作します

地上デジタルテレビをお使いになる地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 **次へ** にタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 **郵便番号入力** にタッチする

郵便番号入力画面に切り換わります。

4 **0～9** のキーにタッチして、**郵便番号を入力する**

入力した郵便番号を訂正したい場合は、**C** を押して番号を消去してください。

5 入力が終わったら、**決定** にタッチして入力した数字を決定する

更新データの ダウンロード設定を行う

DTV

ダウンロード
設定
OFF

で操作します

放送波に含まれたデータをダウンロードして、地上デジタルTVチューナー内のデータをバージョンアップするかどうかを設定します。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 次へにタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 ダウンロード設定にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ON → OFF

ONを選択すると、更新データのダウンロードを開始します。

ダウンロード設定を ONにしたとき

放送局データが配信されたら、自動的にダウンロードを開始します。

1 画面にしたがって、操作を行う

画面の表示に従って、操作してください。

放送中の番組情報を 自動で取得する

DTV

番組名称情報
取得設定
OFF

で操作します

ソースが地上デジタルテレビ以外またはOFFのときに、番組情報を自動で取得する設定にします。「4チューナー設定」(☞ 89ページ)で「機能優先」を選んだ場合に有効な機能です。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 次へにタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 番組名称情報取得設定にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ON → OFF

ONを選択すると、本システムの電源がOFFのときに、「裏番組」に必要な情報を自動で取得します。

地上デジタルTVチューナー の設定内容を消去する

DTV

廃棄や譲渡などで地上デジタルTVチューナーを手放すときに、記録されている視聴者設定を消去できます。

**視聴者設定
クリア** で操作します

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 **次へ** にタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 **視聴者設定クリア** にタッチする

確認画面に切り換わります。

4 **はい** にタッチして、設定内容を消去する

設定内容を消去しない場合は、**いいえ** にタッチしてください。

メモ

- ・「映像出力設定」(☞ 90ページ)を除く、地上デジタルテレビの機能設定がすべて初期状態に戻ります。

番組表の表示のしかたを 変更する

DTV

**番組表表示
設定
メインチャンネル** で操作します

表示する番組表を、全チャンネルにするかメインチャンネルにするか設定します。

メインチャンネル

- ・メインチャンネルとは、放送局が複数の番組を送信する場合のメインとなるチャンネルです。例えば、3桁チャンネルが「031」、「032」とある場合、若い数字である「031」がメインチャンネルになります。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 **次へ** にタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 **番組表表示設定** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

メインチャンネル → 全チャンネル

受信と機能のどちらを優先するか設定する

DTV

4チューナー
設定
受信優先

で操作します

搭載する4つのチューナーを、受信優先にするか機能優先にするか設定できます。受信を優先した場合、4つのチューナーがすべて受信用になります。機能を優先した場合、必要に応じて、受信用と機能用に2つずつチューナーが割り当てられます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 次へにタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 4チューナー設定にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

受信優先 → 機能優先

メモ

- ・「機能優先」を選んだ場合に優先されるのは、中継局サーチや中継+系列サーチ、ほかの放送局の番組表の取得、更新データのダウンロードなどです。

お知らせメッセージを表示する

DTV

お知らせ
メッセージ

で操作します

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 次へにタッチする

機能設定メニューの2ページ目に切り換わります。

3 お知らせメッセージにタッチする

お知らせメッセージ一覧画面に切り換わります。

4 メッセージ一覧から、見たいメッセージを選んでタッチする

選んだメッセージが表示されます。メッセージ一覧に戻るには、戻るにタッチしてください。

メモ

- ・メッセージが多いときは、▲／▼にタッチして、画面をスクロールしてください。
- ・走行中、お知らせメッセージの表示はできません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

地上デジタルTVチューナーのバージョン情報を表示する

DTV

バージョン
情報

で操作します

1 機能設定メニューを表示する

(※ 78ページ)

2 次へに2回タッチする

機能設定メニューの3ページ目に切り換わります。

3 バージョン情報 にタッチする

バージョン情報表示画面に切り換わり
ます。

4 終了 にタッチして通常画面に戻る



メモ

- ・走行中は、バージョン情報の表示はできません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

モニターの映像出力設定を切り換える

DTV

映像出力
設定
D2固定

で操作します

モニターの出力をD2またはD4に切り換えることができます。モニターに合わせた設定にしてください。

1 機能設定メニューを表示する

(※ 78ページ)

2 次へに2回タッチする

機能設定メニューの3ページ目に切り換わり
ます。

3 映像出力設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換
わります。

D2固定 → D4固定



メモ

- ・XGAモニターの性能を生かした高画質（D4相当）で映像を楽しみたい場合は、「D4固定」に切り換えてください。この場合、本機のモニター表示はD1相当の画質になります。
- ・リアモニターを組み合わせない場合、またはリアモニターがXGA以外の場合は、「D2固定」のままにしておきます。この場合、本機のモニター表示もD2の画質になります。

光デジタルの出力形式を切り換える

DTV

デジタルオーディオ
設定
AAC

で操作します

パイオニア製DSP内蔵ユニットを組み合わせて、地上デジタル放送の5.1chサラウンド放送を聞くことができます。その場合、光デジタルの出力形式をAACに切り換えます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 **次へ** に2回タッチする

機能設定メニューの3ページ目に切り換わります。

3 **デジタルオーディオ設定** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

AAC → PCM

受信状態の良い放送局を自動で登録する (BSSM)

TV

BSSM
OFF

で操作します

BSSMとは、「Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)」の略です。受信状態の良いチャンネルを探して、自動的に登録する機能です。

1 登録したいバンドを選ぶ

(☞ 56ページ)

2 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

3 **BSSM** にタッチする

BSSM (チャンネル自動登録) が始まります。

登録動作中は、「BSSM」が点滅します。登録が完了すると、「BSSM」の点滅が終わり、P01 (プリセットチャンネル1) に登録された放送局を受信します。

メモ

- 登録動作中に **BSSM** にタッチすると、BSSMを中止することができます。
- 受信状態の良い放送局が12局より少ないときは、以前に登録した放送局が残ることがあります。

音声多重放送の 音声を切り換える

TV

音声多重
MAIN

で操作します

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。音声多重放送を受信しているときに、音声を切り換えることができます。

1 機能設定メニューを表示する

(☞ 78ページ)

2 音声多重 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

MAIN (主音声) → SUB (副音声)
→ MAIN+SUB (主音声+副音声)



メモ

- 2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語（例：英語）で放送しています。

DVD設定メニューを表示する

DVD

音声、字幕や視聴制限などの内蔵プレイヤーの設定を行います。

1 ソースを内蔵プレイヤーに切り換える

(※ 26ページ)

2 AVメニューにタッチする

メインメニューが表示されます。

3 DVD設定 タブにタッチする

DVD設定メニューが表示されます。



メモ

- **終了** にタッチするか、(BAND/ESC) ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、(BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

DVD設定モード一覧

DVD

基本字幕

字幕言語を設定する
(※ 95ページ)

基本音声

音声言語を設定する
(※ 96ページ)

メニュー言語

メニュー言語を設定する
(※ 97ページ)

アシスト字幕 非表示

アシスト字幕の表示/非表示を切り換える
(※ 98ページ)

マルチアングル 表示

マルチアングルマークの表示/非表示を切り換える
(※ 98ページ)

テレビアスペクト 16:9

テレビアスペクトを設定する
(※ 99ページ)

視聴制限

視聴制限 (パレンタルロック) を設定する
(※ 99ページ)

ポーズモード 自動

ポーズモードを切り換える
(※ 101ページ)

DivX VOD

DivX VODの登録コードを確認する
(※ 101ページ)

DivX字幕 オフ/オン

DivX 字幕の表示方法を切り換える
(※ 102ページ)

デジタル出力 ストリーム

デジタル出力の設定を切り換える
(※ 102ページ)

字幕言語を設定する

DVD

基本字幕 から操作します

字幕として優先的に表示したい言語を設定します。

字幕言語の一覧から選択する

1 DVD設定メニューを表示する

(※ 94ページ)

2 基本字幕 にタッチする

基本字幕選択画面が表示されます。



3 希望の言語にタッチする

メモ

- 設定した言語がディスクに収録されていない場合、再生時にはディスクで指定されている言語が表示されます。

「その他」から選択する

「その他」を選択すると、言語コードを入力できます。言語コード表 (※ 129ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

1 DVD設定メニューを表示する

(※ 94ページ)

2 基本字幕 にタッチする

基本字幕選択画面が表示されます。

3 その他 にタッチする

言語コード入力画面が表示されます。

4 言語コードを入力して、決定 にタッチする

入力した言語コードの言語が設定されます。

メモ

- C** (クリア) にタッチすると、入力した数字を消して、現在設定されている言語コードを表示します。

音声言語を設定する

DVD

基本音声 から操作します

音声として優先したい言語を設定します。

音声言語の一覧から選択する

1 DVD設定メニューを表示する

(※ 94ページ)

2 **基本音声** にタッチする

基本音声選択画面が表示されます。



3 希望の言語にタッチする

メモ

- 設定した言語がディスクに収録されていない場合、再生時にはディスクで指定されている言語が出力されます。

「その他」から選択する

「その他」を選択すると、言語コードを入力できます。言語コード表 (※ 129ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

1 DVD設定メニューを表示する

(※ 94ページ)

2 **基本音声** にタッチする

基本音声選択画面が表示されます。

3 **その他** にタッチする

言語コード入力画面が表示されます。

4 言語コードを入力して、**決定** にタッチする

入力した言語コードの言語が設定されます。

メモ

- C** (クリア) にタッチすると、入力した数字を消して、現在設定されている言語コードを表示します。

メニュー言語を設定する

DVD

メニュー言語 から操作します

メニューとして優先したい言語を設定します。

メニュー言語の一覧から 選択する

1 DVD設定メニューを表示する (☞ 94ページ)

2 **メニュー言語** にタッチする メニュー言語選択画面が表示されます。



3 希望の言語にタッチする

メモ

- ・設定した言語がディスクに収録されていない場合、再生時にはディスクで指定されている言語が表示されます。

「その他」から選択する

「その他」を選択すると、言語コードを入力できます。言語コード表 (☞ 129ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

1 DVD設定メニューを表示する (☞ 94ページ)

2 **メニュー言語** にタッチする メニュー言語選択画面が表示されます。

3 **その他** にタッチする 言語コード入力画面が表示されます。

4 言語コードを入力して、**決定** に タッチする 入力した言語コードの言語が設定されます。

メモ

- ・**C** (クリア) にタッチすると、入力した数字を消して、現在設定されている言語コードを表示します。

アシスト字幕の 表示／非表示を切り換える

DVD

アシスト字幕
非表示

で操作します

アシスト字幕の表示／非表示を設定します。

アシスト字幕

- 耳の不自由な方などのために、場面の状況を説明する字幕です。アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合にだけ表示できます。

1 DVD設定メニューを表示する

( 94ページ)

2 **アシスト字幕**にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。


非表示 → 表示

マルチアングルマークの 表示／非表示を切り換える

DVD

マルチアングル
表示

で操作します

マルチアングルで収録されたディスクで、アングル切り換えができる場面を再生している間、マルチアングルマーク () を表示することができます。ここでは、マルチアングルマークの表示／非表示を設定します。

1 DVD設定メニューを表示する

( 94ページ)

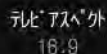
2 **マルチアングル**にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

表示 → 非表示

テレビアスペクトを設定する

DVD



で操作します

画面の表示比率を設定します。ディスクに収録された映像（画像）の比率に合わせて設定します。

テレビアスペクトの種類

16:9

ワイドモニターに最適な設定です。

レターボックス

上下に黒い帯のある画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。

パンスカン

左右の切れた画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。

1 DVD設定メニューを表示する

(※ 94ページ)

2 テレビアスペクトにタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

16:9 → レターボックス

→ パンスカン

メモ

- ・パンスカン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスカン」に設定しても「レターボックス」での再生になります。
- ・ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- ・DivXファイル再生時は、テレビアスペクトの設定によっては、画像の左右および上下に黒い帯が付くことがあります。

視聴制限（パレンタルロック）を設定する

DVD



で操作します

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定できます。

視聴制限レベルのめやす

レベル 8

すべてのディスクを再生します。

レベル 7 ~ 2

成人向けのディスクの視聴を制限します。子供向けや、一般向けのディスクを再生します。

レベル 1

子供向けディスクのみ再生します。

メモ

- ・はじめて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- ・視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限は設定できません。
- ・ディスクによっては、視聴制限された場面だけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルを設定する

1 DVD設定メニューを表示する

(☞ 94ページ)

2 視聴制限 にタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。



3 暗証番号を入力する

- **C** (クリア) にタッチすると、入力した数字を消すことができます。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。

4 決定 にタッチする

暗証番号が設定され、レベル設定画面が表示されます。

5 希望のレベルの数字にタッチする

視聴制限レベルが設定されます。

メモ

- **終了** にタッチするか、**(ESC)** (BAND/ESC) ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、**(BACK)** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

レベルを変更する

1 DVD設定メニューを表示する

(☞ 94ページ)

2 視聴制限 にタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号を入力して、決定 にタッチする

レベル設定画面が表示されます。

- 間違った暗証番号を入力すると、**(禁止マーク)** が表示され、番号が間違っていることを知らせます。正しい暗証番号を入力してください。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、下記の「暗証番号を忘れたときは」をご覧ください。

4 希望のレベルの数字にタッチする

視聴制限レベルが変更されます。

メモ

- **終了** にタッチするか、**(ESC)** (BAND/ESC) ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、**(BACK)** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

暗証番号を忘れたときは

「レベルを変更する」の手順3で、**C** (クリア) に10回タッチします。登録した暗証番号が解除されるので、新しい暗証番号を入力します。

ポーズモードを切り換える

DVD

ポーズモード
自動

で操作します

DVDビデオおよびDivXで、再生を一時停止するときの画質を変更できます。

ポーズモードの種類

自動

フィールドとフレームを自動的に切り換えます。通常はこの設定にしておきます。

フィールド

静止画面が常にブレないようにしたいときに設定します。ただし、映像情報がフレームの半分になるため、画質は落ちます。

フレーム

静止画面を常に良い画質にしたいときに設定します。ただし、フィールドが交互に映し出されるため、画面がブレることがあります。

1 DVD設定メニューを表示する

(☞ 94ページ)

2 ポーズモードにタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

自動 → フィールド → フレーム

DivX VODの登録コードを確認する

DVD

DivX VOD

で操作します

DivX VODとは、「DivX Video On Demand (ビデオ オン デマンド)」の略です。DivX VODファイルを再生する場合、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。

メモ

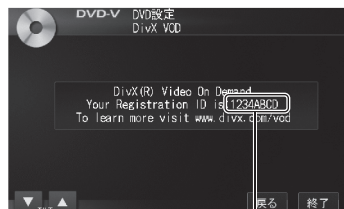
- DivX VODファイルは、DRMコピープロテクションがかかっています。DivX VODファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生できます。
- 本機の登録コードが認証されていないDivX VODファイルは再生できません。
- DivX VODファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VODファイルの本機で再生すると、残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルは再生できません。
- 視聴回数が設定されていないDivX VODファイルは、何度でも再生できます。

1 DVD設定メニューを表示する

(☞ 94ページ)

2 DivX VODにタッチする

DivX VODの登録コードが表示されます。登録コードは8桁の英数字です。



登録コード

DivX 字幕の 表示方法を切り換える

DVD

DivX字幕
オリジナル

で操作します

DivXファイルには、字幕が収録されているものがあります。また、DivXファイルに字幕を追加して、ディスクに記録することもできます。

あらかじめDivXファイルに収録されている字幕を「オリジナル字幕」と呼びます。DivXファイルを作成したあとに追加した字幕を「カスタム字幕」と呼びます。ここでは、「オリジナル字幕」と「カスタム字幕」の表示切替を設定できます。

 メモ

- 本機はファイル形式「.srt」のカスタム字幕だけに対応しています。
- カスタム字幕は1行あたり42文字まで対応しています。
- 1画面に一度に表示できる字幕の文字数は126文字までです。

1 DVD設定メニューを表示する

(※ 94ページ)

2 **DivX 字幕** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

オリジナル → カスタム

デジタル出力の設定をする

DVD

デジタル出力
ストリーム

で操作します

本機のデジタル出力を設定できます。

 メモ

- LPCMに設定することにより、以下のタイプのディスクを再生する場合、音声の出力方法を切り換えることができます。
 - Dual Mono モードで記録されたDVDビデオ
 - 2カ国語で記録されたDVD-VR
- 本機の光デジタル出力を接続していない場合、この設定をする必要はありません。

デジタル出力の種類

ストリーム

ドルビーデジタルやDTS信号が出力されません。通常はこの設定にしておきます。

LPCM

ドルビーデジタルやDTS信号をLinear PCM 信号に変換して出力されます。

1 DVD設定メニューを表示する

(※ 94ページ)

2 **デジタル出力** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ストリーム → LPCM

システム設定メニューを表示する

本機に接続したシステムに関する設定を行います。また、本機のサブディスプレイなどもここで設定します。

1 **AVメニュー** にタッチする

メインメニューが表示されます。

2 **システム設定** にタッチする

システム設定メニューが表示されます。



メモ

- **終了** にタッチするか、**(BAND/ESC)** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、**(BACK)** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

システム設定モード一覧

AV INPUT1 OFF	AV入力を設定する (105ページ)
AV INPUT2 OFF	AV入力を設定する (105ページ)
バックカメラ 極性設定 HIGH	バックカメラの極性を設定する (106ページ)
オートフリップ 設定 オート	モニターの自動開閉を設定する (106ページ)
フラップ セットバック OFF	モニターのセットバックを設定する (107ページ)
時刻設定	時計を設定する (107ページ)
サブディスプレイ DIMMER ON	夜間のサブディスプレイの明るさを切り換える (108ページ)
サブディスプレイ 表示 通常表示	サブディスプレイの表示内容を切り換える (108ページ)

AV入力を設定する



ビデオやDVDプレーヤー、バックカメラなどの外部機器を本機のRCA入力に接続できます。接続時は、機器に合った設定に切り換えます。

AV入力設定の種類

OFF

AV入力に何も接続しない場合、この設定にします。

ビデオ

ビデオ機器を接続した場合、この設定にします。(ソースを「AV」にしたときに、ビデオ機器の映像を見ることができます。)

S-DVD

DVDプレーヤーを接続した場合、この設定にします。(ソースを「S-DVD」にしたときに、DVDプレーヤーの映像を見ることができます。)

TV

TVチューナーを接続した場合、この設定にします。(ソースを「TV」にしたときに、TVチューナーの映像を見ることができます。)

EXT-V

映像出力がある機器を、エクスターナルユニット (※ **27ページ**) として接続した場合、この設定にします。(ソースを「EXT」にしたときに、EXT-Vの映像を見ることができます。)

バックカメラ

別売のバックカメラ (例: 「ND-BC3」) を接続した場合、この設定にします。車のシフトレバーをR (リバース) の位置にしたとき、バックカメラの映像をモニターに映します。

1 システム設定メニューを表示する

(※ **104ページ**)

2 **AV INPUT1** または **AV INPUT2** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

AV INPUT1

OFF → ビデオ → S-DVD

→ TV → EXT-V

AV INPUT2

OFF → ビデオ → S-DVD

→ TV → バックカメラ

メモ

- 市販のバックカメラを使用する場合は、鏡像タイプをおすすめします。
- AV INPUT1とAV INPUT2で同じ項目が選択されている場合、AV INPUT1に入力されている映像を表示します。
- TVおよびEXT-Vは、対応した機器が接続されていない場合は選ぶことができません。

バックカメラの極性を設定する



で操作します

車種によって、車のシフトレバーをR（リバース）にしたときの電圧が異なります。車のシフトレバーがR（リバース）の位置でバックカメラの映像が正しく表示されるように設定します。

設定の内容

HIGH

車のシフトレバーをR（リバース）にしたときに、バック信号線の電圧が「HIGH」になる場合、この設定にします。

LOW

車のシフトレバーをR（リバース）にしたときに、バック信号線の電圧が「LOW」になる場合、この設定にします。

1 システム設定メニューを表示する

(※ 104ページ)

2 バックカメラ極性設定 にタッチする

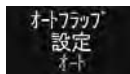
タッチするたびに、以下のように切り換わります。

HIGH → LOW

メモ

- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）にしても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。
- バックカメラ映像表示中に、【V.ADJUST】ボタンを長く押しすと、バックカメラの映像を解除します。ナビゲーションユニットを組み合わせている場合は、【V.ADJUST】を押すと解除します。

モニターの自動開閉を設定する



で操作します

車のエンジンスイッチをACC（またはON）やOFFにしたとき、モニターが自動で開閉するかを設定します。

1 システム設定メニューを表示する

(※ 104ページ)

2 オートフラップ設定 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

オート（自動開閉）

→ マニュアル（手動開閉）

メモ

- シフトレバーなどにモニターが当たってしまうときは、「マニュアル」に設定し、【OPEN/CLOSE】ボタンを押してモニターを開閉してください。

モニターのセットバックを設定する



で操作します

立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。

1 システム設定メニューを表示する (☞ 104ページ)

2 **フラップセットバック** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

OFF → ON



メモ

- ・設定を切り換えると同時にモニターが動きます。

時計を設定する

時刻設定

で操作します

サブディスプレイに表示される時計の時刻を設定できます。

1 システム設定メニューを表示する (☞ 104ページ)

2 **時刻設定** にタッチする

時刻設定画面が表示されます。



3 時刻を入力する

- ・入力は、24時間単位で行います。
- ・**C**（クリア）にタッチすると、入力した数字を消し、設定されている時刻を表示します。

4 **メモリ** にタッチする

時刻が設定され、サブディスプレイに表示されます。

5 **12h** (**24h**) にタッチする

サブディスプレイに表示される時刻が12時間単位（24時間単位）に切り換わります。

夜間のサブディスプレイの明るさを切り換える



で操作します

車のヘッドライトに連動して、サブディスプレイを暗くできます。夜間の運転中など、周囲が暗くなったときにサブディスプレイのまぶしさを抑えることができます。

1 システム設定メニューを表示する

(※ 104ページ)

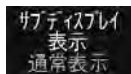
2 サブディスプレイ DIMMER にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ON → OFF

- ONにすると、車のライトに連動して、サブディスプレイが暗くなります。

サブディスプレイの表示内容を切り換える



で操作します

サブディスプレイの表示内容を切り換えます。

1 システム設定メニューを表示する

(※ 104ページ)

2 サブディスプレイ表示 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

通常表示 → 時計表示 → OFFモード

- 通常表示にすると、ソースごとの情報が表示されます。

初期設定

初期設定メニューを表示する

AUXやイルミネーションの設定など、本機の初期設定を行います。

1 ソースをOFFにする

(※ 27ページ)

2 AVメニューにタッチする

メインメニューが表示されます。

3 初期設定にタッチする

初期設定メニューが表示されます。



メモ

- **終了** にタッチするか、**ESC** (BAND/ESC) ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、**BACK** (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

初期設定モード一覧

AUX
OFF

外部機器を使う
(※ 111ページ)

DVD
ディスクオート
ON

ディスクの自動再生を設定する
(※ 112ページ)

イルミネーション
タイミング
通常

イルミネーションの点灯の
タイミングを変更する
(※ 113ページ)

イルミネーション
選択
白

ボタンのイルミネーションを
変更する
(※ 113ページ)

BFC
LOW

ビートフリクエンシー コント
ロール (BFC) を設定する
(※ 114ページ)

リモコン
選択
設定
コード A

リモコンコードを変更する
(※ 114ページ)

外部機器を使う

外部機器の音声を聞く



で操作します

市販のポータブル機器などを接続して、その音声を聞くことができます。

外部機器を接続した場合は、AUXソースの設定をONにしてください。



外部機器との接続

- 本機に外部機器を接続するには、別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」が必要です。また、外部機器はRCA出力端子を備えている必要があります。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 110ページ)

2 **AUX** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ON → OFF

3 ソースをAUXにする

(☞ 26ページ)

外部機器の名称を入力する



で操作します

外部機器の名称を10文字まで入力できます。



メモ

- サブディスプレイには、先頭から8文字目までを表示します。

1 ソースをAUXにする

(☞ 26ページ)

2 **AVメニュー** にタッチする

メインメニューが表示されます。

3 **機能設定** にタッチする

機能設定メニューが表示されます。

4 **名称変更** にタッチする

名称変更画面に切り換わります。



次ページへ続く

5 ◀ / ▶ にタッチする

入力する位置を選びます。

6 ABC にタッチする

入力文字種選択画面が表示されます。


7 入力したい文字種にタッチする

文字の種類を選びます。

カタカナ、アルファベット、数字/記号から選ぶことができます。

8 文字や数字にタッチする

文字や数字が入力できます。

スペースを入れるときは、 にタッチします。



消去するときは、 にタッチします。

9 メモリ にタッチする

入力した内容が登録され、機能設定メニューに戻ります。

- **メモリ** にタッチする前に画面を切り換えると、入力中の内容は消去されます。

メモ

- **終了** にタッチするか、 (BAND/ESC) ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **戻る** にタッチするか、 (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

ディスクの自動再生を設定する



で操作します

本機にディスクが挿入されたとき、自動的にソースを内蔵プレーヤーに切り換えて、再生を開始することができます。

1 初期設定メニューを表示する

( 110ページ)

2 DVDディスクオート にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ON → OFF

- ONにすると、本機にディスクが挿入されたとき、自動再生します。

イルミネーションの 点灯タイミングを変更する



で操作します

本機と「カロッツェリアX」シリーズのシステムコントロールチューナーCD (例: 「RS-D7XⅢ」) / CD/チューナーメインユニット「DEX-PO1Ⅱ」/純正オーディオ/他社製のオーディオを組み合わせて使用した場合、イルミネーションの点灯タイミングがずれることがあります。

ここでは、そのタイミングのずれを修正することができます。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 110ページ)

2 イルミネーション点灯タイミング にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

通常 → イルミ連動

ボタンのイルミネーション色 を変更する



で操作します

ボタンのイルミネーション色を白またはオレンジ色に変更することができます。

車のイルミネーション色に合わせて変更することをおすすめします。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 110ページ)

2 イルミネーションカラー選択 にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

白 → オレンジ

ビート音を抑える設定にする (BFC)



で操作します

ビート フリクエンシー コントロール (BFC) を切り換えて、AMラジオ受信中のビート音の発生を抑えることができます。AMラジオ受信中にビート音が聞こえるときは、設定を切り換えてください。

1 初期設定メニューを表示する

(※ 110ページ)

2 **BFC** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

LOW → HIGH



メモ

- 聞き比べて、ビート音が少ないほうに切り換えてください。

リモコンコードを設定する



で操作します

本機とパイオニア製6ディスクマルチプレーヤー「XDV-P70」を組み合わせるとき、リモコンコードを設定します。リモコンコードには、コードAとコードBがあります。



メモ

- 「XDV-P70」を組み合わせ、本機のリモコンで本機だけを操作する場合は、コードBに設定してください。リモコン左側面にある、リモコンコード切り換えスイッチ (※ 22ページ) のコードも同じ設定にしてください。
- 「XDV-P70」を組み合わせ、本機のリモコンで「XDV-P70」を操作する場合は、コードをBに設定してください。リモコンコード切り換えスイッチのコードはAに設定してください。

1 初期設定メニューを表示する

(※ 110ページ)

2 **リモコン選択設定** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

コードA → コードB

背景画面を設定する (エンタテインメント)

モニターの背景画面を切り換えることができます。背景画面は、音楽を聞いているときなどに表示できます。

1 【ENT】 ボタンを押す

エンタテインメント選択画面に切り換わります。



2 好みのタッチキーにタッチして、 エンタテインメントを切り換える

BGP1、**BGP2**、**BGP3**：

バックグラウンドピクチャー

BGV1、**BGV2**、**BGV3**：

バックグラウンドビジュアル

DVD：

内蔵プレーヤー (DVD) の画像

AV1、**AV2**：

AVソースの画像

メモ

- ナビゲーションユニットを組み合わせている場合に、エンタテインメント選択画面に切り換えるには、【ENT】 ボタンを長く押ししてください。
- 本機にディスクがセットされていないときは、「DVD」は選べません。CDやWMA/MP3/AAC再生時にエンタテインメントをDVDに切り換えると、ブルーバックになります。
- AV入力の設定 (※ 105ページ) を行っていないと、「AV1」および「AV2」は選べません。

ワイド画面の拡大方法を 切り換える

テレビ、ビデオCD、DVDなどの映像は、4：3の映像を16：9の映像に拡大できます。

メモ

- ワイドモードの設定内容は、映像ごとに登録されます。
- ナビゲーションの映像は、ワイドモードの切り換えはできません。

ワイドモードの種類

フル

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像の欠けがなく、ワイド画面で楽しめます。

ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、16：9の映像を違和感なく楽しめます。

シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

ズーム

映像を上下左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。

ノーマル

映像をそのまま表示します。従来の地上波テレビの映像と同じです。

オート

内蔵プレーヤーまたはナビゲーションユニットのプレーヤーで映像ソースを再生している場合、映像に合わせて最適なワイドモードを自動設定します。

1 【WIDE】 ボタンを押す

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

FULL (フル)

- JUST (ジャスト)
- CINEMA (シネマ)
- ZOOM (ズーム)
- NORMAL (ノーマル)
- AUTO (オート)

メモ

- ナビゲーションユニットを組み合わせている場合に、ワイドモードを切り換えるには、【WIDE】 ボタンを長く押ししてください。
- シネマおよびズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き延ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は、映像ソースだけで可能です。

画質を調整する

明るさやコントラストなどを調整できます。

メモ

- 設定内容は、DVDやテレビなどで別々に登録されます。
- 黒の濃さ、コントラスト、および明るさの調整内容は、明るいとき (☀️) と暗いとき (🌙) で別々に登録されます。明るいときと暗いときは、本機の外光センサーが周囲の明るさを感じて決定します。
- 走行中は、画質は調整できません。

1 【V.ADJUST】 ボタンを押す

画質調整メニューが表示されます。



2 調整したい項目のタッチキーにタッチする

黒の濃さ	黒の濃さを調節する
コントラスト	コントラストを調節する
色の濃さ	色の濃さを調節する
明るさ	明るさの自動調整 (3点式インテリジェント ディママー)

黒の濃さ、コントラスト、色の濃さ、および色合いは-24 ~ +24の範囲で調整できます。

次ページへ続く

メモ

- **バックカメラ**は、AV入力の設定でバックカメラが設定 (※ 105ページ) されているときに選択できます。
- **バックカメラ**にタッチすると、バックカメラの画質調整メニューに切り換わります。ソース画面の画質調整メニューに戻るには、**ソース**にタッチします。
- 接続したバックカメラによっては、画質を調整できない場合があります。
- 音楽ソースやナビゲーションの地図の場合は、色の濃さは調整できません。
- 色合いは、テレビ、バックカメラ、およびAVソースの場合だけ、調整できます。

モニターのみぶしさを抑える

夜間運転中など周囲が暗いときに、画面がまぶしく感じられることがあります。本機は、周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調節します (3点式インテリジェントディマー)。調整内容は、お好みに合わせて設定できます。

1 [V.ADJUST] ボタンを押す

画質調整メニューが表示されます。

2 明るさのタッチキー (暗/明) にタッチして、明るさを調節する

赤い太陽 (☀) 明るいとき (昼間)

橙色の太陽 (🌅) 中間の明るさ (夕方)

月 (🌙) 暗いとき (夜間)

メモ

- ナビゲーションユニットを組み合わせている場合に、画質調整メニューに切り換えるには、[V.ADJUST] ボタンを長く押します。
- 現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調節できます。
- 昼間、夕方、および夜間のそれぞれの外光レベルで調節・登録できます。

リアモニターを使う

リアモニターを接続すると、DVDやビデオの映像を後部座席でも楽しむことができます。パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、本体で選んだソースの映像が表示されます。



警告

運転中に見える場所に設置しない



リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができるところには、絶対に設置しないでください。

ご注意

- コンポーネント出力を使用する場合、接続するモニターによっては本機のソース切り換えやON/OFFの際に、一時的にモニターの表示が乱れたり分割して見えたりする場合があります。

TVM-W1100/TVM-W90を組み合わせた場合

- 別売の11.0型ワイドVGAモニター「TVM-W1100」/9.0型ワイドXGAモニター「TVM-W90」は、本機とコンポーネントケーブルで接続すると、本機と連動して動作することができます。詳しくは、それぞれのモニターの取扱説明書をご覧ください。

タッチパネルの誤差を 補正する

タッチパネルに触れたとき、触れた位置と反応する位置がずれることがあります。このようなときは、タッチパネルの位置の誤差を補正してください（キャリブレーション設定）。補正には、2種類の方法があります。1つは画面の四隅を設定する簡易設定、もう1つは画面の16カ所を設定する詳細設定です。

キャリブレーションの種類

簡易設定

画面の四隅に現れる矢印の先端を、タッチパネル用調整ペンでタッチします。

詳細設定

画面の16カ所に現れる十字マークの中心を、タッチパネル用調整ペンでタッチします。

ご注意

- 必ず、付属のタッチパネル用調整ペンを使用して行ってください。付属のタッチパネル用調整ペン以外を使用すると、液晶画面の故障の原因となります。
- タッチパネル用調整ペンで画面を強く押さないでください。強く押すと、画面の故障の原因となります。

1 [V.ADJUST] ボタンを押す

画質調整メニューが表示されます。

2 [V.ADJUST] ボタンを長く押す

キャリブレーション設定画面が表示されます。

3 付属のタッチパネル用調整ペンを使って、キャリブレーション設定を行う

画面の指示に従って、キャリブレーション設定を行ってください。

メモ

- ナビゲーションユニットを組み合わせている場合に、キャリブレーション設定画面に切り換えるには、画質調整メニューの表示中に【V.ADJUST】ボタンを長く押ししてください。
- キャリブレーション設定を途中でやめるときは、【V.ADJUST】ボタンを長く押ししてください。
- キャリブレーション設定が終わったら、【V.ADJUST】ボタンを長く押ししてください。設定内容が保存され、ソース画面に戻ります。

再生できるディスクの種類

- 下記マークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- **DVD** はDVDフォーマットロゴライセンス（株）の商標です。

DVDビデオ



ビデオCD



CD



ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止している場合があります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。
	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

メモ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVDビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号 (※ **137ページ**) が異なるディスクは再生できません。
- ビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応しています。ただし、ファイナライズされていないディスクの再生には対応していません。再生する際は、必ずファイナライズしてください。
- ビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクの再生に対応しています。ただし、レイヤージャンプモードには対応していません。
- ファイナライズされたDVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクは、録画・編集ができません。
- ビデオフォーマット (ビデオモード) およびビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- DVD-ROM、DVD-RAMディスクの再生には対応していません。
- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。(詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。)
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。

- CD-R/RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ (CD-DA) 再生時)
- ファイナライズされていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクには対応していません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RW、DVD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD規格) で記録されたディスクについて

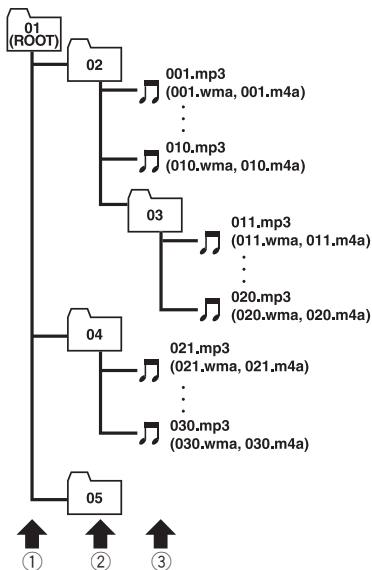
- 本機は、AVCHD規格に非対応のため再生できません。ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入したり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が出る場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

フォルダーとWMA/MP3/AAC ファイルについて

- WMA/MP3/AACファイルを収録したDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット(Joliet, Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です(※ 138ページ)。
- 本機はマルチセッション(※ 137ページ)方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- バケットライト(※ 136ページ)には対応していません。
- m3u(※ 138ページ)のプレイリストには対応していません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(.wma, .mp3, .m4a)を含めて半角で64文字、全角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で64文字、全角で32文字までです。
- 拡張フォーマット(Romeo)(※ 138ページ)に準拠して記録されたファイルの場合、半角で先頭から64文字、全角で先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間(トラック間)にブランクがないディスクを、WMA/MP3/AACファイルとしてDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ディスクに、WMA/MP3/AACファイルと音楽データ(CD-DA)が混在しているときは、WMA/MP3/AACファイルと、音楽データ(CD-DA)を切り換えることができます(※ 35ページ)。WMA/MP3/AACファイルと、音楽データ(CD-DA)を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA/MP3/AACファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号を表示せず、スキップします。)
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が255個まで再生可能です。

再生できるWMAファイル について

ご注意

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は8 kHz ~ 48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレート(※ 136ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、5 kbps~320kbps (CBR)のビットレートで記録されたWMAファイルの再生に対応しています。また、本機はVBRで記録されたディスクの再生にも対応しています。
ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

- デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。
ディスク内のすべてのファイルがDRMで保護されている場合は、そのディスクは再生できません。
- 本機は、下記の形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

再生できるMP3ファイル について

ご注意

- MP3ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。
- ID3 Tag (※ 138ページ) のVer. 1.0/1.1/2.2/2.3のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- サンプリング周波数が8 kHz～48 kHzのMP3ファイルの再生に対応しています。また、上記のサンプリング周波数で、エンファシスに対応しています。
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート (※ 136ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps～320 kbps (CBR) のビットレートで記録されたMP3ファイルの再生に対応しています。また、本機はVBRで記録されたディスクの再生にも対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

再生できるAACファイル について

ご注意

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、8 kHz～44.1 kHzです。
- 一般的にAACファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps～320 kbpsのステレオビットレートで記録されたAACファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。
- iTunesミュージックストアで購入された楽曲 (.m4p) は、DVD-R/RW、CD-R/RWに記録して再生することはできません。
- 本機は、下記の形式には対応していません。
 - ・ Apple ロスレス・エンコーダ

再生できるDivX®ビデオ ファイルについて

ご注意

- DivX®ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.aviまたは.divx) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.aviまたは.divx) が付いているファイルをDivX®ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、DivX®ファイル以外には拡張子 (.aviまたは.divx) を付けしないでください。
- 本機は、DivX®規格に準拠したDivX®ビデオフォーマット（コンテンツ）を再生することができます。また、DivX® Ultraには対応していません。
- 映像データが収録されていない場合、DivX®ファイルと認識できません。
- DivX®ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- DivX®のパートナーサイト以外からダウンロードしたDivX®ファイルの再生は保証していません。
- DivX® VODファイルのうち、DRMレンタルファイルを再生している場合は、再生選択後から実際に再生が始まるまでの間、操作できません。
- 本機では、最大で1590分43秒のDivX®ファイルの表示に対応しています。
- 4 GBを超えるファイルの場合、ファイルの途中までしか再生しません。
- DivX® VODファイルを再生する場合、そのDivX® VODファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。登録コードは「DivX VODの登録コードを確認する」(※ 101ページ)の方法で確認してください。
- DivX®について詳しくは、<http://www.divx.com/>を参照してください。

再生できるJPEGファイル について

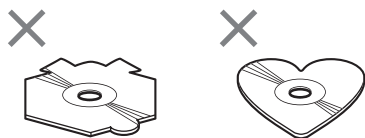
ご注意

- JPEGファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.jpg、.jpegまたは.jpe) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.jpg、.jpegまたは.jpe) が付いているファイルをJPEGファイルとして再生します。故障の原因となりますので、JPEGファイル以外には拡張子 (.jpg、.jpegまたは.jpe) を付けしないでください。
- 解像度が8192 × 7680までのベースラインJPEGと、EXIF2.1に対応しています。(EXIF形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です。)
- パソコンで加工されたEXIFファイルは、再生できないことがあります。
- プログレッシブJPEGの再生には対応していません。

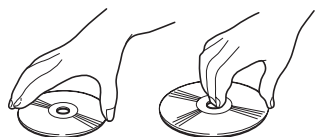
ディスクの使用上のご注意

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



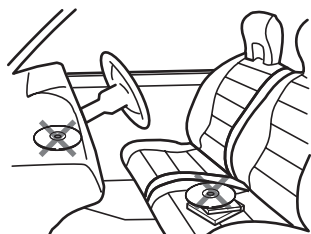
- ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼り付けないでください。

保管上のご注意

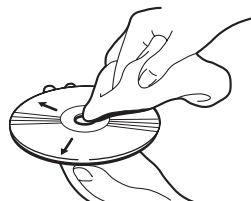
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に、実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

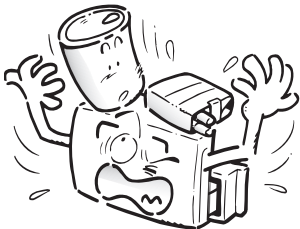
モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

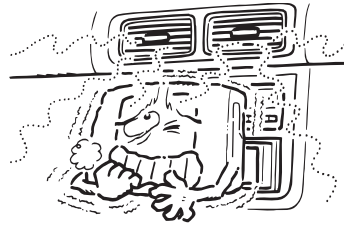
- 温度が-10度以下または+50度以上になるところでは、お使いにならないでください。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、モニターの液晶画面が故障するおそれがあります。できる限りモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用していないときは、本体にモニターを収納してください。



- モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障するおそれがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- モニターを立ち上げたときに、モニターの上に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち上げ、収納を手動で行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。



- モニターを立ち上げたときに、モニターがエアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴がついて故障するおそれがあります。



- モニターの立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物がはさまると、モニターが動かなくなることがあります。モニターが動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いてもう一度【OPEN/CLOSE】ボタンを押してください。



- エアバッグなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

液晶画面について

- モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れたあと、しばらく画面が暗くなったり、赤みを帯びることがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

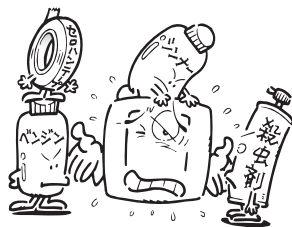
小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

- 蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

お手入れについて

- 画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、付属の布（クリーニングクロス）でから拭きしてください。
- 画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- めれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



言語コード表

言語名 (言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイ马拉語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ベルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入力コード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラーヤラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入力コード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チgris語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタル語 (tt)	2020
トウイ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

* 言語表記はISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
([E3P 16ページ](#))









それでも直らないときは

『保証書とアフターサービス』([E3P 135ページ](#))をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (E3P 『取付説明書』)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (E3P 『取付説明書』)
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 (E3P 16ページ)
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	リモコンの操作モードまたはコードが間違っている。	リモコンの操作モード (E3P 18ページ) またはコード (E3P 114ページ) を正しく切り換えてください。
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 (E3P 18ページ)
	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
ディスクを再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。 (E3P 126ページ)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。
音が出ない。	接続が間違っている	正しく接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (E3P 『取付説明書』)

症状	原因	処置
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。 パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 ( 『取付説明書』)
 (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。 この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの  ボタンを押してから、もう一度再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。
画面が伸びる、アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。
何も表示されない。	バックカメラが接続されていない。 バックカメラの極性設定が間違っている。	バックカメラを接続してください。 ( 『取付説明書』) 正しく設定してください。 ( 106ページ)
電源をOFFにしても映像が出ている。	デモがONになっている。	デモを解除してください。 ( 15ページ)
液晶画面が暗い。	車内の温度が低い。	液晶画面は、周囲の温度が低いと、しばらく画面が暗くなったり、赤みを帯びることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。

内蔵プレーヤー：DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	本機が対応していない方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号(2)と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 (E5P 100ページ)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 (E5P 100ページ)
	暗証番号を忘れてしまった。	暗証番号を解除してください。 (E5P 100ページ)
音声(または字幕)言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。 (E5P 41ページ)
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。 (E5P 41ページ)
DVDセットアップメニューで選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えできません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。 映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

内蔵プレーヤー：ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。	PBCの付いていないビデオCDでは操作できません。
リピート再生、トラック／タイムサーチができない。	PBCの付いているビデオCDを再生している。	PBCの付いているビデオCDでは操作できません。

内蔵プレーヤー：CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ 126ページ)
	CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ 126ページ)

こんなメッセージが表示されたら

内蔵プレーヤーのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
[ERROR-02-9E]	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。 (<small>※</small> 126ページ)
	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。 (<small>※</small> 29ページ)
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
[TEMP]	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
[DIFFERENT REGION CODE]	リージョン番号が異なるディスクを挿入したとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「再生できないディスクです。」	本機では再生できないディスクを使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。 (<small>※</small> 120ページ)
「再生できない曲をスキップしました。」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生しているとき。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
[PROTECT]	ディスク内のすべてのファイルが、デジタル著作権保護 (DRM) で保護されているとき。	ディスクを交換してください。
[NON-PLAYABLE FILE]	DivX® ファイルに異常があるとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
「Rental expired.」	DivX® VODファイルの視聴回数制限をオーバーしている。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
「認証エラー」 [Authorization Error]	DivX® VODファイルの認証ができていない。	DivX® VODファイルをダウンロードする前に、ファイルの配信元へ登録コードの認証を行ってください。 (<small>※</small> 101ページ)



メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっていきます。

視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、視聴制限がかかっているシーンを飛ばして再生したりできます。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像を収録しているものがあります。このようなDVDでは、ユーザーが視点を選んで再生できます。

マルチ音声

DVDやDivXの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDやDivXでは、音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕（サブタイトル）

映画などでおなじみの字幕です。DVDやDivXでは、1枚のディスク（1つのファイル）に複数の字幕を収録しているものがあります。DVDでは最大32言語まで、DivXでは最大8言語まで記録でき、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクには、発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョン番号）が設けられています。再生するディスクに記載されている番号に、プレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。

リアPCM（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されています。DVDは、音楽CDより高音質な再生が可能です。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の1つです。この数が大きいほど、音質が良くなります。ただし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズも大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

DivX

DivXは、DivX, Inc.が開発したメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高音質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードしてDivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified

DivX Certified製品は、DivXのクリエイターによって、すべてのバージョンのDivX（DivX 6も含む）でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠したポータブルビデオやHDビデオであることを示します。

DTS

「Digital Theater Systems」の略です。DTSはサラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したサラウンドオーディオを提供します。

EXIF

「Exchangeable Image File Format」の略です。富士フィルムが提唱した、デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。各社のデジタルカメラでの標準仕様として採用されています。画像データだけでなく、縮小画像（サムネイル）や、画像についての情報、撮影日時などの付加情報を記録できます。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1

ファイル名は、8.3形式（名前は半角英大文字と半角数字、“.”で8文字以下、拡張子は3文字）で、各フォルダーの階層は8つ以下

レベル2

ファイル名は、最大31文字（区切り文字“.”と拡張子を含む）で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet

ファイル名は、最大で64文字

Romeo

ファイル名は、最大で128文字

JPEG

「Joint Photographic Expert Group」の略で、画像圧縮技術に関する基本フォーマットです。

m3u

プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮できます。

MPEG

「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

MS ADPCM

「Microsoft Adaptive Differential Pulse Code Modulation」の略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

VBR

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変にすることで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VRモード














「Video Recording (ビデオレコーディング)」の略です。DVD-RWの基本記録方式で、録画または消去を繰り返すことができます。また、部分消去などの編集もできます。

WMA

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータはWindows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

地上デジタルテレビの アイコン一覧

地上デジタルテレビを操作中に表示されるアイコンとその内容は以下のとおりです。

-  HV : ハイビジョン放送受信中
-  SD : 標準画質放送受信中
-  罫 : ワンセグ受信中
-  d : データ連動放送受信中
-  ∞ : ステレオ放送受信中
-  5.1 : サラウンド放送受信中
-  多 : 多国語放送受信中
-  TV : マルチ編成のTV番組受信中
-  罫 : 通常放送とワンセグ切替可能 (ワンセグ → 通常)
-  罫 : 通常放送とワンセグ切替可能 (通常 → ワンセグ)
-  罫 : マルチビュー放送受信中
-  封 : 未読メッセージあり
-  電波 : 受信レベル

仕様

共通部

使用電源：
DC 14.4 V
(10.8 V～15.1 V 使用可能)

アース方式：
マイナスアース方式

最大消費電流：
2.0 A

外形寸法：
(取付寸法 (W) × (H) × (D))：
178 mm × 50 mm × 165 mm
(ノーズ寸法 (W) × (H) × (D))：
171 mm × 46 mm × 30 mm

質量：
2.3 kg (コードユニット含まず)

モニター部

画面サイズ：
7.0 インチワイドモニター

アスペクト比：
15 : 9

有効表示面積：
152.4 mm × 91.44 mm

有効画素数：
1 152 000 画素 (800 × 480 × 3)

方式：
TFTアクティブマトリクス方式

使用温度範囲：
-10 °C～ +50 °C

保存温度範囲：
-20 °C～ +80 °C

スライド角度調整範囲：
50° ～ 110° (初期設定角度：90°)

DVDプレーヤー部

形式：
DVDビデオ、ビデオ CD、CD、MP3、
WMA、AAC、DivX、JPEG プレーヤー

リージョン番号：
2

使用ディスク：
DVDビデオ、ビデオCD、dts CD、CD、
CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW
(DVD-RおよびDVD-RWはVRモード対応)

信号フォーマット：
サンプリング周波数：
16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/
32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/
96 kHz

量子化ビット数：
16/20/24ビット直線

周波数特性：
5 Hz～48 000 Hz
(DVD、サンプリング周波数96 kHz時)

S/N比：
97 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
97 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク) : CD
(RCAレベル)

高調波歪率：
0.005 % (1 kHz)

出力レベル：
映像
1 Vp-p/75 Ω (± 0.2 V)
音声
1.0 V (1 kHz、0 dB)

チャンネル数：
2 (ステレオ)

MP3デコーディングフォーマット：
MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

WMAデコーディングフォーマット：
Ver. 7、7.1、8、9、10、11
(2ch オーディオ)
(Windows Media Player)

AACデコーディングフォーマット：
MPEG-4 AAC (Ver. 7.2以前のiTunes
でエンコードされたもののみ) (.m4a)

DivXデコーディングフォーマット：
Home Theater Ver. 3、4、5.2、6
(.avi、.divx)

付属品

リモコン	: 1
リチウム電池 (CR2025)	: 1
コードユニット	: 1式
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	: 1

**メモ**

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **☎** フリーコール および **☎** フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター (全国共通フリーコール)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 **☎ 0120-944-111**

【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 **☎ 0120-5-81028**

【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス **☎ 0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 **☎ 0120-5-81095**

【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス **☎ 0120-5-81096**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2008

<KMIZF> <08D00000> <CRA4166-A>